「グリーン水素率先利用事業者認証制度」の
認証申請にかかる募集要領

－ 令和７年度版 －

目　次

１　制度概要 1
２　申請の方法 11
３　審査 63
４　認証の取り扱い 63
５　よくある質問（Ｑ＆Ａ） 64
６　その他 66
７　グリーン水素率先利用事業者認証を受けた事業者への支援 66
８　ヘルプデスク 66

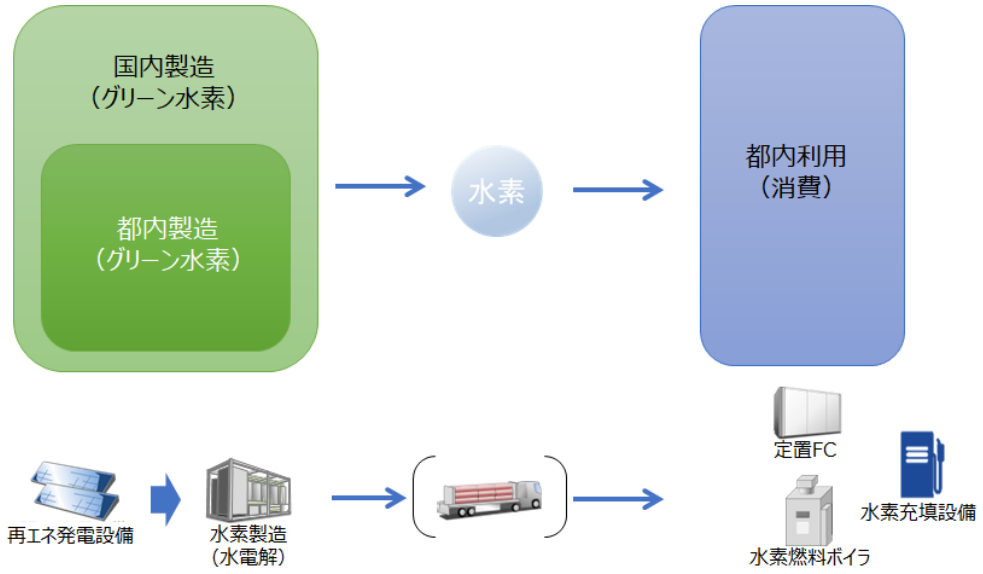
1　制度概要

（１）目的

東京都ではエネルギーの安定供給の確保や脱炭素化に向け、都内における水素エネルギーの需要拡大・早期社会実装化に取り組んでいます。

特に脱炭素社会の実現に向けては、再生可能エネルギー電力由来の水素（グリーン水素）の活用促進が重要です。

本事業は、都内でグリーン水素を利用する事業者等を認証し、事業者等におけるグリーン水素の活用を促進することを目的とします。



※本制度についてのご不明点等は、以下の「グリーン水素率先利用者認証制度 ヘルプデスク」まで、遠慮なくお問い合わせください。

グリーン水素率先利用事業者認証制度 ヘルプデスク
株式会社エックス都市研究所内
電話　０１２０－７６９－４９１
〔受付時間　９：００～１７：００（土日、祝日、年末年始を除く）〕
メール　tokyo-gh2c（a）exri.co.jp
※ご連絡いただく際は（a）を@に替えてご連絡ください。

グリーン水素を利用する事業者等の認証は、①オンサイト型（地産地消）、②オンサイト型（地産地消以外）、③オフサイト型、④少量利用型の４区分で行います。

＜認証区分の概要＞

認証区分	概 要	要 件		奨励金 ※基準額： 300 円/Nm^3
		期 間	利用量	
①オンサイト型 （地産地消）	再エネ電力を自ら作り出し、グリーン水素を都内の事業所等内の施設で製造し利用	年間の利用月数が２月以上の利用実績	年間 100Nm^3 以上の利用実績	基準額の 2/3 ×利用量
②オンサイト型	再エネ電力の供給を他者から受け、グリーン水素を都内の事業所等内の施設で製造し利用			基準額の 3/5 ×利用量
③オフサイト型	国内で製造されたグリーン水素を調達し、都内の事業所等内の施設で利用 ※ZEV（EV 車両若しくは FC 車両）での運搬 ※それ以外の方法で運搬した場合は、温室効果ガス排出量のオフセットが必要		年間 500Nm^3 以上の利用実績	基準額の 1/2 ×利用量
④少量利用型	自ら製造した若しくは国内で製造されたグリーン水素を都内の事業所等内の施設で利用する事業者	年間の利用月数が１月以上の利用実績	－	－

※１ 「東京都グリーン水素トライアル取引事業」において調達しているグリーン水素は、奨励金の支給対象となりません。

※２ 商用の水素ステーションを運営する事業者は、認証申請を行うことができますが、奨励金の支給対象となりません。

（２）認証対象

基準を満たすグリーン水素を都内で利用する事業者等を認証します。

認証要件は、次に示す、①グリーン水素の利用に関する要件、②利用するグリーン水素に関する要件の全てを満たすものとします（「グリーン水素率先利用事業者認証制度運用方針」の２）。

①グリーン水素の利用に関する要件

ア　都内の事業所等の敷地内に設置されたグリーン水素利用設備であり、製造した電気や熱などのエネルギーを当該事業所等内で利用、または水素供給ディスペンサーで充填すること。

イ　グリーン水素利用設備において、グリーン水素の利用を次のとおり行っていること。

・　年間の利用月数

認証区分		
	オンサイト型	２月以上
	オフサイト型	２月以上
	少量利用型	１月以上

・　年間のグリーン水素利用量

認証区分		
	オンサイト型	100N ㎥以上
	オフサイト型	500N ㎥以上
	少量利用型	0N ㎥よりも大きい値

ウ　都内の複数の事業所等で、グリーン水素を利用し、事業者等で複数の区分の利用を行っている場合は、当該区分別に合計したグリーン水素利用量がイの要件を満たすこと。

※要件を満たしている場合、それぞれの区分で認証申請を行うことができます。

②利用するグリーン水素に関する要件

ア　利用するグリーン水素の製造に関する要件

・　日本国内において再生可能エネルギー電力を活用して製造したものであること。若しくは、水素製造に伴い消費する電力に相当する環境価値を調達し、当該電力に割り当て製造したものであること。

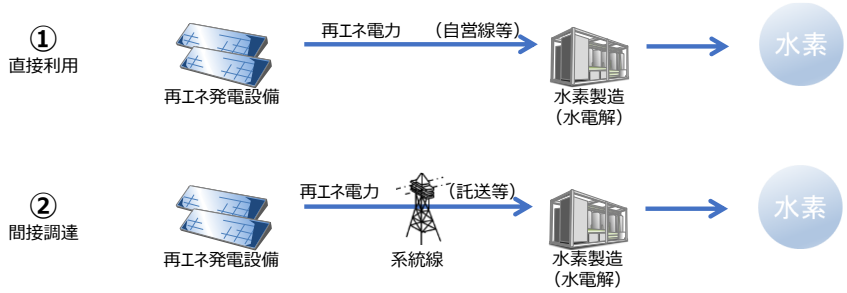
・　再生可能エネルギー電力を活用してグリーン水素を製造する場合にあっては、当該再生可能エネルギー発電設備が再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づく設備認定を受けていること、又は電気事業法（昭和 39 年法律第 170 号）第 27 条の 27 第１項に基づく発電事

業届出がされていること、若しくは、当該発電設備の構造、エネルギー源の種類等を勘案して再生可能エネルギー電力を発電する設備であると認められること。

・　グリーン水素製造設備を設置している事業所等に供給されている再生可能エネルギー電力の供給量が把握可能であること。なお、水素製造に充てる系統電力を環境価値で割り当てている場合は、その換算量が把握可能であること。

・　前年度１年間に累計したグリーン水素の製造に係る電力使用量が、グリーン水素製造設備の所在する事業所等に供給されている同期間に累計した再生可能エネルギー電力量や調達した環境価値換算量と同等、又はそれを下回ること。

※グリーン水素を製造する再生可能エネルギーの調達手段として、施設内、若しくは施設外より専用インフラで供給した再エネの直接利用、また電気系統を介する間接調達も可能とします。



イ　利用するグリーン水素の輸送に関する要件

・　国内にあるグリーン水素製造設備からグリーン水素の供給を受けること。

（３）認証対象となるグリーン水素利用の期間

令和６年度分（令和６年４月１日から令和７年３月 31 日まで）のグリーン水素の利用実績を、令和７年度に認証します。

令和６年度の利用実績を、申請書とともに、関係書類を添えてご申請ください。

（４）認証区分

①オンサイト型（地産地消）、②オンサイト型（地産地消以外）、③オフサイト型、④少量利用型）の各認証区分は、次のように定義されています（「グリーン水素率先利用事業者認証制度運用方針」の３）。

①オンサイト型（地産地消）

同一の敷地内にある再生可能エネルギー設備から直接エネルギーの供給を受けた都内にあるグリーン水素製造設備からグリーン水素の供給を受け、グリーン水素製造設備と同一敷地内若しくは同一街区の都内の事業所等で利用していること。

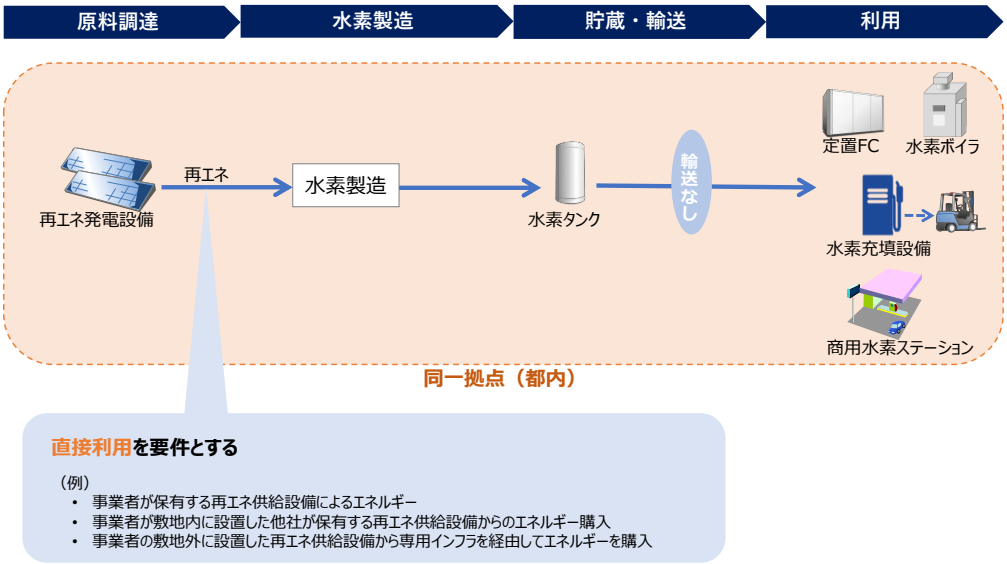
※１ オンサイト型（地産地消）は再生可能エネルギーを直接利用し、都内の事業所内の施設で製造した水素を利用するモデルであり、同一施設内において水素製造・利用が行われるものが対象になります。

※２ 前年度１年間のオンサイト（地産地消）におけるグリーン水素利用量が 100N ㎥以上の場合が対象になります。

※３ オンサイト型（地産地消）におけるグリーン水素の利用月数が、２月以上の場合が対象になります。

※４ 年間の利用月数は、月単位のグリーン水素利用量の実績値で確認します。したがって、年間で２回以上の利用実績があり、その実績が複数の異なる月で存在する場合、利用月数は２月以上とみなされます。

＜オンサイト型（地産地消）の製造・供給・利用のフロー図＞



②オンサイト型

都内にあるグリーン水素製造設備からグリーン水素の供給を受け、グリーン水素製造設備と同一敷地内若しくは同一街区の都内の事業所等で利用していること。

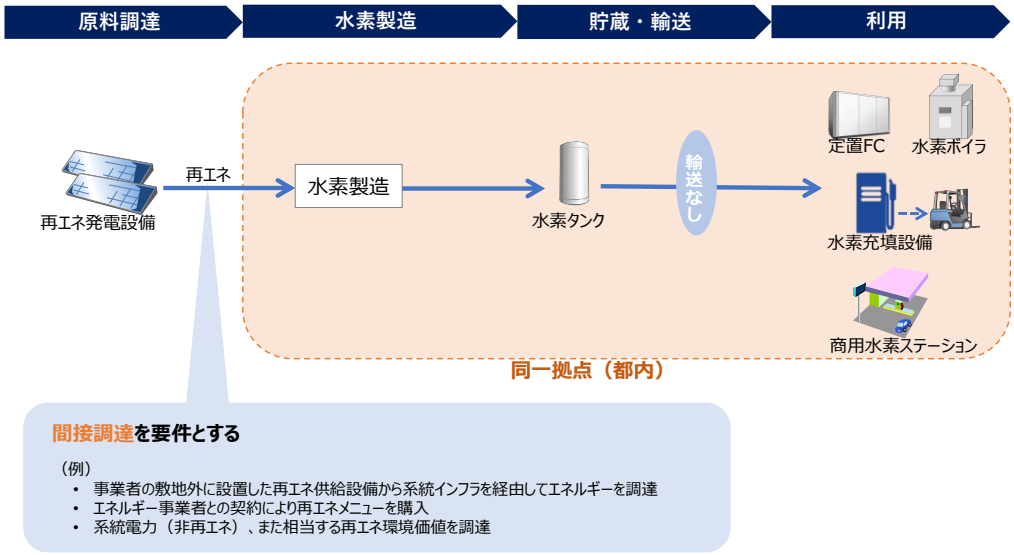
※1　オンサイト型は再生可能エネルギーを間接調達し、都内の事業所内の施設で製造した水素を利用するモデルであり、同一施設内において水素製造・利用が行われるものが対象になります。

※2　前年度１年間のオンサイト（地産地消以外）におけるグリーン水素利用量が 100N㎥以上のものが対象になります。

※3　オンサイト型（地産地消以外）におけるグリーン水素の利用月数が、２月以上の場合が対象になります。

※4　年間の利用月数は、月単位のグリーン水素利用量の実績値で確認します。したがって、年間で２回以上の利用実績があり、その実績が複数の異なる月で存在する場合、利用月数は２月以上とみなされます。

＜オンサイト型（地産地消以外）の製造・供給・利用のフロー図＞



③オフサイト型

ア　グリーン水素の利用を行う都内の事業所から離れた拠点（国内）にあるグリーン水素製造設備において製造され、車両運搬により供給されたグリーン水素を都内の事業所等で利用し、かつ、利用したグリーン水素のグリーン水素製造拠点からグリーン水素利用拠点までの間の輸送に伴い排出される二酸化炭素排出量を削減する取組を行っていること。

イ　二酸化炭素排出量を削減する取組は次のいずれかとする。

・　グリーン水素の輸送により排出される二酸化炭素排出量を、カーボン・オフセットの仕組みを利用し、日本国内で創出された環境価値により相殺すること。

・　ZEV（EV 車両若しくは FC 車両）を使用してグリーン水素の輸送を行うこと。

※１　都内施設で製造したグリーン水素を、離れた別の都内の施設まで車両運搬により輸送し、利用するものは、オフサイト型に該当します。

※２ 前年度１年間のオフサイトにおけるグリーン水素利用量が 500N ㎥以上のものが対象になります。

※３ オフサイトにおけるグリーン水素の利用月数が、２月以上の場合が対象になります。

※４ 年間の利用月数は、月単位のグリーン水素利用量の実績値で確認します。したがって、年間で２回以上の利用実績があり、その実績が複数の異なる月で存在する場合、利用月数は２月以上とみなされます。

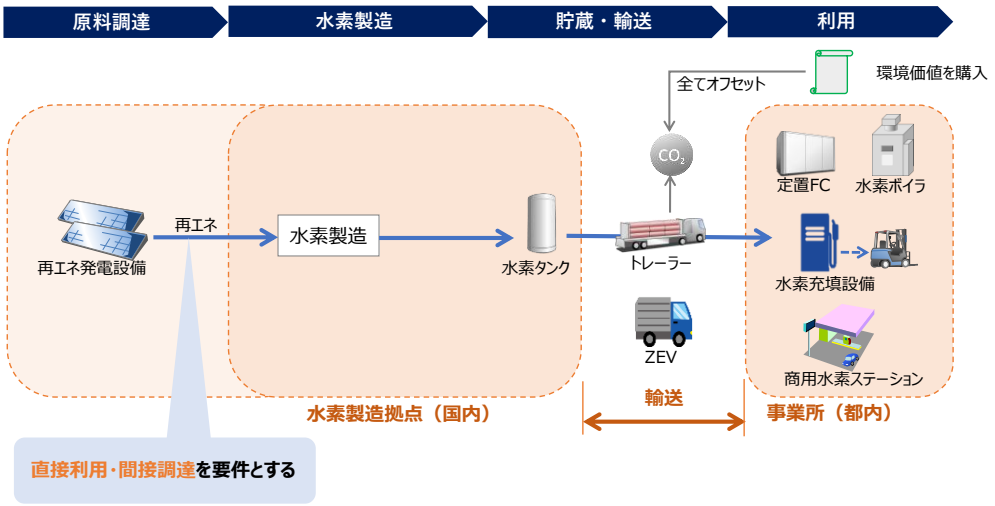
※５ グリーン水素の運搬時に排出される二酸化炭素排出量をカーボン・オフセットの仕組みを利用して、相殺（オフセット）する場合は、次のクレジット等の利用である必要があります。

・　日本国内で生み出された環境価値であり、何から得られた環境価値であるか明確であるもの。

・　公表できる環境価値であること。

・　国が公表している「カーボン・オフセットガイドライン」等に則り、対応していること。

＜オフサイト型の製造・供給・利用のフロー図＞



④少量利用型

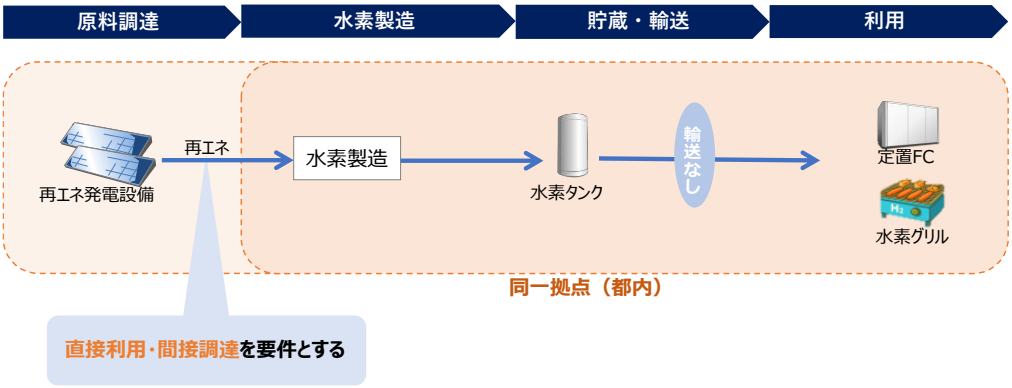
オンサイト型（地産地消）、オンサイト型（地産地消以外）、オフサイト型の各区分の利用方法のいずれかに該当し、年間の利用月数が１月以上で、かつ、前年度１年間のグリーン水素利用量が ON ㎥よりも大きい値であること。

※１ オンサイト型、オフサイト型の要件緩和を行ったものが少量利用型であり、研究用途や非常時の BCP 用途等が想定されます。グリーン水素の製造・供給・利用において、少量利用型にはオンサイト方式、オフサイト方式の２パターンがあります。

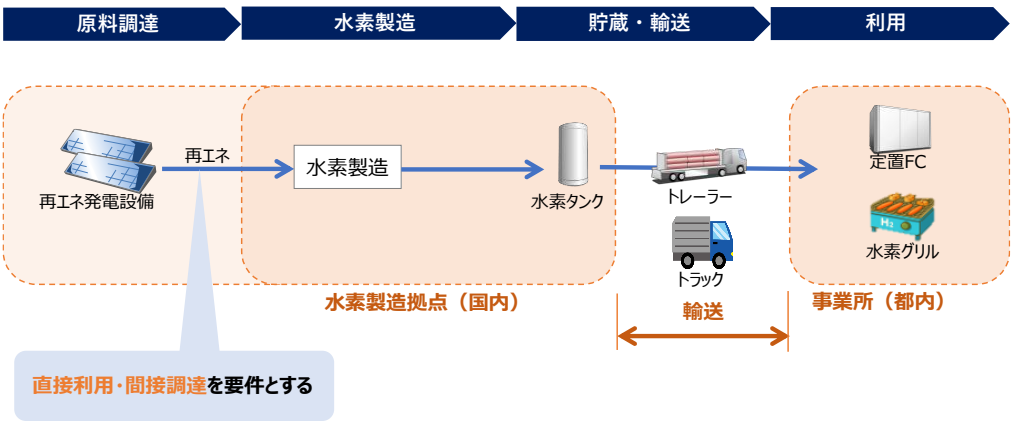
※２ 少量利用型では、オフサイト型の認証要件となる「利用したグリーン水素の製造拠点から利用拠点までの間の輸送に伴い排出される二酸化炭素排出量を削減する取組を行っていること」は、必須ではありません。

※３ 年間の利用月数は、月単位のグリーン水素利用量の実績値で確認します。したがって、年間で１回でも利用実績があれば、利用月数は１月とみなされます。

＜少量利用型（オンサイト方式の場合）の製造・供給・利用のフロー図＞

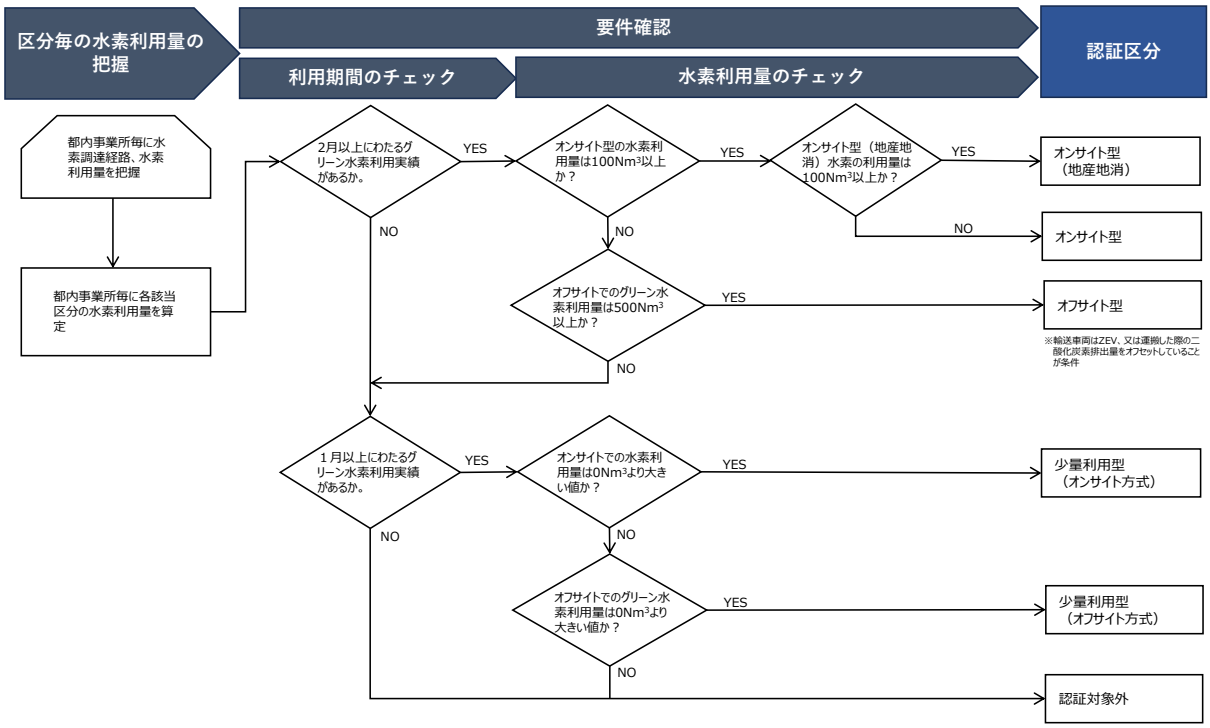


＜少量利用型（オフサイト方式の場合）の製造・供給・利用のフロー図＞



なお、認証申請を行う①オンサイト型（地産地消）、②オンサイト型（地産地消以外）、③オフサイト型、④少量利用型 の各認証区分は、下記のフローで判断してください。

＜各認証区分の判別フロー図＞

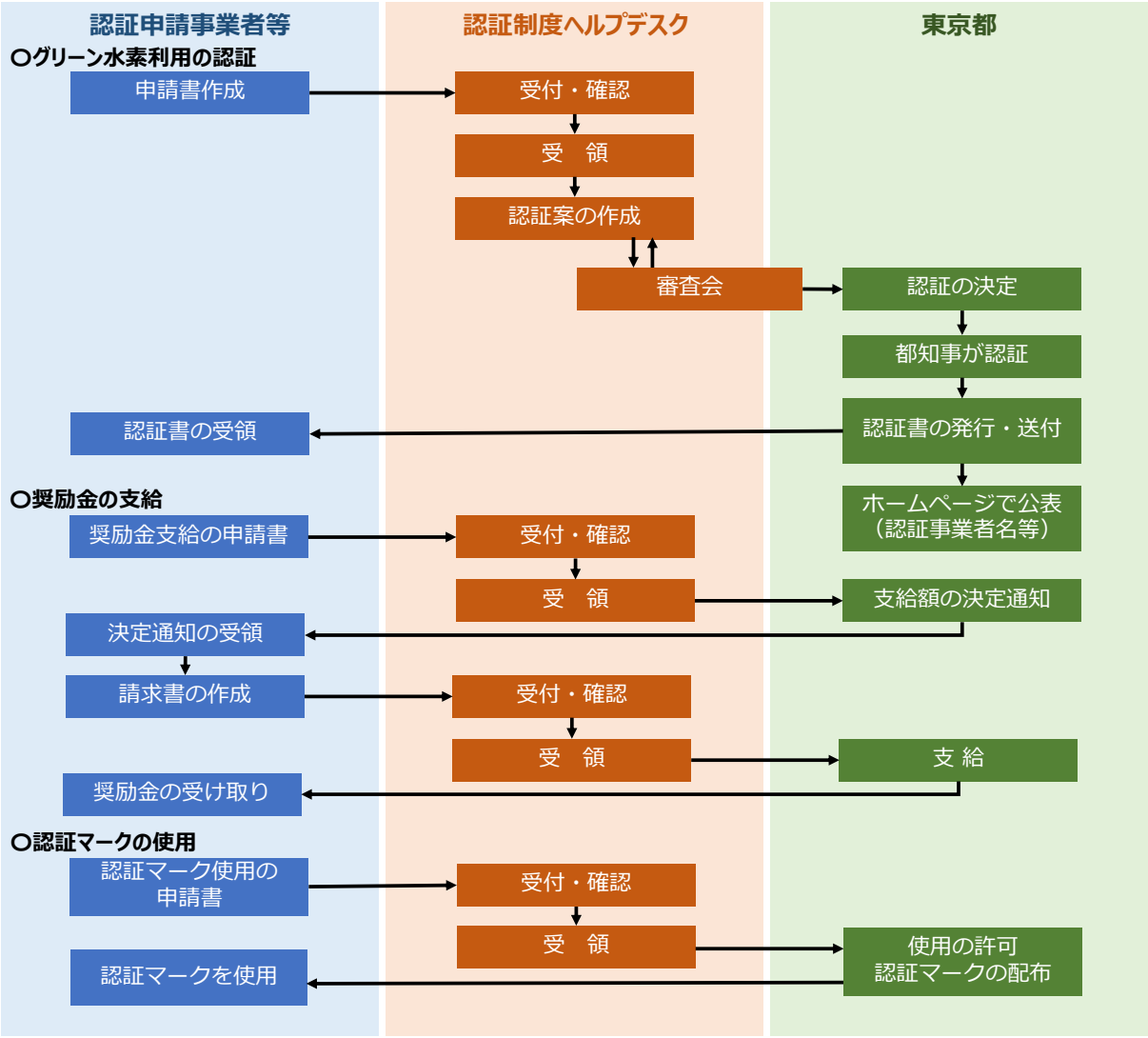


※認証区分の判別の不明点等があれば「グリーン水素率先利用者認証制度 ヘルプデスク」までお問い合わせください。

（５）申請・認証手続の流れ

申請・認証手続きの流れは、以下のとおりです。

＜申請・認証手続の流れ＞



2　申請の方法

（１）募集期間

令和７年４月30日（水）～同年７月31日（木）

※毎年度募集を実施します。

（２）申請書類

申請に必要な書類に必要事項をご記入の上、ご送付ください。

＜申請に必要な書類＞

①　様式第１号　グリーン水素率先利用事業者認証申請書
②　様式第２号　各事業所の詳細
③　様式第３号　グリーン水素の利用量の内訳（月別）
④　様式第３号　別添１　グリーン水素の製造根拠について
⑤　様式第３号　別添２　グリーン水素利用設備のある事業所周辺の見取り図
⑥　様式第３号　別添３　グリーン水素利用設備の設置場所が確認できる書類
⑦　様式第３号　別添４　グリーン水素の製造、供給、利用のフロー図並びに関連資料
⑧　様式第３号　別添５　各設備の仕様並びに水素利用量の把握について
⑨　様式第３号　別添６　輸送時の二酸化炭素排出量の算定書
⑩　様式第３号　別添７　輸送時の二酸化炭素排出量を削減する取組
⑪　要件確認チェックシート

＜認証区分ごとの提出必要書類＞

		認証区分			
		①オンサイト型（地産地消）	②オンサイト型	③オフサイト型	④少量利用型
①様式第１号	グリーン水素率先利用事業者申請書	○	○	○	○
	取組内容（概要）について、特徴やポイントを示す図や資料	○	○	○	○
②様式第２号	各事業所の詳細	○	○	○	○
③様式第３号	グリーン水素の製造根拠について	○	○	○	○
④様式第３号 別添１	グリーン水素の製造根拠について	○	○	○	○

		認証区分			
		①オンサイト型（地産地消）	②オンサイト型	③オフサイト型	④少量利用型
⑤様式第３号 別添２	グリーン水素利用設備のある事業所周辺の見取り図	○	○	○	○
⑥様式第３号 別添３	グリーン水素利用設備の設置場所が確認できる書類	○	○	○	○
⑦様式第３号 別添４	グリーン水素の製造、供給、利用のフロー図並びに関連資料	○	○	○	○
⑧様式第３号 別添５	各設備の仕様並びに水素利用量の把握について	○	○	○	○
⑨様式第３号 別添６	輸送時の二酸化炭素排出量の算定書			○	
⑩様式第３号 別添７	輸送時の二酸化炭素排出量を削減する取組			○	
⑪要件確認チェックシート		○	○	○	○

●その他

・暴力団排除に関する誓約書

・申請に必要な添付書類（取組内容（概要）について、特徴やポイントを示す図や資料は必須。その他、グリーン水素利用に関する計画書、電気系統図、設備の容量・能力・設置場所等が分かる図面・仕様書・パンフレットなど。）

・申請に当たって都が必要と認めた書類

＊オンサイト型（地産地消）、オンサイト型、オフサイト型、少量利用型で、書式が異なります。

○「オンサイト型（地産地消）」又は「オンサイト型」

① 様式第１号－１　グリーン水素率先利用事業者認証申請書【オンサイト型】
※取組内容（概要）について特徴やポイントを示す図や資料の添付が必須

② 様式第２号－１　各事業所の詳細【オンサイト型】

③ 様式第３号－１　グリーン水素の利用量の内訳（月別）【オンサイト型】

④ 様式第３号　別添１－１　グリーン水素の製造根拠について【オンサイト型／少量利用型（オンサイト方式）】

⑤ 様式第３号　別添２　グリーン水素利用設備のある事業所周辺の見取り図【共通】

⑥ 様式第３号　別添３　グリーン水素利用設備の設置場所が確認できる書類【共通】

⑦ 様式第３号　別添４　グリーン水素の製造、供給、利用のフロー図並びに関連資料【共通】

⑧ 様式第３号　別添５－１　各設備の仕様並びに水素利用量の把握について【オンサイト型／少量利用型（オンサイト方式）】

⑪ 要件確認チェックシート【オンサイト型】

○「オフサイト型」

① 様式第１号－２　グリーン水素率先利用事業者認証申請書【オフサイト型】
※取組内容（概要）について特徴やポイントを示す図や資料の添付が必須

② 様式第２号－２　各事業所の詳細【オフサイト型】

③ 様式第３号－２　グリーン水素の利用量の内訳（月別）【オフサイト型】

④ 様式第３号　別添１－２　グリーン水素の製造根拠について【オフサイト型／少量利用型（オフサイト方式）】

⑤ 様式第３号　別添２　グリーン水素利用設備のある事業所周辺の見取り図【共通】

⑥ 様式第３号　別添３　グリーン水素利用設備の設置場所が確認できる書類【共通】

⑦ 様式第３号　別添４　グリーン水素の製造、供給、利用のフロー図並びに関連資料【共通】

⑧ 様式第３号　別添５－２　各設備の仕様並びに水素利用量の把握について【オフサイト型／少量利用型（オフサイト方式）】

⑨ 様式第３号　別添６【オフサイト型】

⑩ 様式第３号　別添７【オフサイト型】

⑪ 要件確認チェックシート【オフサイト型】

○「少量利用型」

（オンサイト方式での利用の場合）

① 様式第１号－３　グリーン水素率先利用事業者認証申請書【少量利用型（オンサイト方式）】
※取組内容（概要）について特徴やポイントを示す図や資料の添付が必須

② 様式第２号－３　各事業所の詳細【少量利用型（オンサイト方式）】

③ 様式第３号－３　グリーン水素の利用量の内訳（月別）【少量利用型（オンサイト方式）】

④ 様式第３号　別添１－１　グリーン水素の製造根拠について【オンサイト型／少量利用型（オンサイト方式）】

⑤ 様式第３号　別添２　グリーン水素利用設備のある事業所周辺の見取り図【共通】

⑥ 様式第３号　別添３　グリーン水素利用設備の設置場所が確認できる書類【共通】

⑦ 様式第３号　別添４　グリーン水素の製造、供給、利用のフロー図並びに関連資料【共通】

⑧ 様式第３号　別添５－１　各設備の仕様並びに水素利用量の把握について【オンサイト型／少量利用型（オンサイト方式）】

⑪ 要件確認チェックシート【少量利用型（オンサイト方式）】

（オフサイト方式での利用の場合）

① 様式第１号－４　グリーン水素率先利用事業者認証申請書【少量利用型（オフサイト方式）】
※取組内容（概要）について特徴やポイントを示す図や資料の添付が必須

② 様式第２号－４　各事業所の詳細【少量利用型（オフサイト方式）】

③ 様式第３号－４　グリーン水素の利用量の内訳（月別）【少量利用型（オフサイト方式）】

④ 様式第３号　別添１－２　グリーン水素の製造根拠について【オフサイト型／少量利用型（オフサイト方式）】

⑤ 様式第３号　別添２　グリーン水素利用設備のある事業所周辺の見取り図【共通】

⑥ 様式第３号　別添３　グリーン水素利用設備の設置場所が確認できる書類【共通】

⑦ 様式第３号　別添４　グリーン水素の製造、供給、利用のフロー図並びに関連資料【共通】

⑧ 様式第３号　別添５－２　各設備の仕様並びに水素利用量の把握について【オフサイト型／少量利用型（オフサイト方式）】

⑪ 要件確認チェックシート【少量利用型（オフサイト方式）】

【注意点】

・グリーン水素を、kgで利用（購入）している場合は、次の換算係数を使用し、N ㎥として御提出ください。なお、算出されたグリーン水素の量の小数点以下は、第２位を四捨五入し、第１位までを記載してください。

単位換算係数　１kg　＝　11.1N ㎥

・申請書は、原則郵送で提出してください。

封筒には「グリーン水素率先利用事業者認証制度に関する書類在中」と記載してください。

※紙媒体と併せて、申請書類一式の電子データを記録した CD-R 等の電子媒体も同封をお願いします。

※申請に際し、事前にヘルプデスクまでご相談願います。

（３）申請書類作成要領・記入例

①様式第１号　グリーン水素率先利用事業者認証申請書

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	○	○	○	○
用いる様式	第１号ー１		第１号―２	（オンサイト方式の場合） 第１号―３ （オフサイト方式の場合） 第１号―４

＜記入の注意事項＞

・　認証の必要条件を満たしているか、よく確認した上で、記載を行ってください。

【認証対象とならないケース】

①　様式第１号―１の「２．認証根拠」における「認証区分」で「オンサイト型（地産地消）」を選択しているにも関わらず、「２．認証根拠」における「年間グリーン水素利用実績月数」が「１月」と記載されており、認証要件（２月以上）を満たしていない。

②　様式第１号―１の「２．認証根拠」における「認証区分」で「オンサイト型（地産地消）」を選択しているにも関わらず、「２．認証根拠」における「年間グリーン水素利用量」の記載がない。

・　グリーン水素利用事業所等の数に応じて、事業所の概要を記載ください。

【認証対象とならないケース】

①　グリーン水素利用事業所等が複数あるにも関わらず、「６．グリーン水素利用各事業所の概要」において、１事業所分しか記載されていない。

・　「３．取組内容（概要）」、「４．取組の意義・効果」の記載内容については、取組 PR のため、東京都ホームページに掲載する可能性があります。特に「３．取組内容（概要）」では、取組の特徴やポイントを分かりやすくコンパクトに記載するとともに、取組の特徴やポイントを示す図や資料を必ず別に添付してください。

【認証対象とならないケース】

① 「３．取組内容（概要）」に専門用語や計算式が多く散りばめられ、特徴やポイントが分からない。

② 取組の特徴やポイントを示す図や資料が添付されていない。

様式第１号－１【オンサイト型】

令和○年○月○日

東京都知事　殿

申請者
住　　所　東京都○区○町○丁目○番○号
法 人 名　株式会社○○○○
代 表 者　代表取締役　○○　○○
電話番号　０３－○○○○－○○○○

グリーン水素率先利用事業者認証申請書
〔オンサイト型（地産地消）/オンサイト型〕

グリーン水素率先利用事業者認証制度実施要綱第５条の規定により、前年度のグリーン水素の利用に係る実績の認証を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

１　認証申請区分
オンサイト型（地産地消）

２　認証根拠

認　証　区　分		☑オンサイト型（地産地消） □オンサイト型	
認証の根拠		※必要条件	
継続性	年間グリーン水素利用実績月数	※２ヵ月以上の利用実績	４か月
	年間グリーン水素利用量	※当該認証区分において１００Nm³／年以上	○○Nm³／年

担当者連絡先	住所	東京都○区○丁目○番○号
	所属	株式会社○○　○○部
	氏名	○○　○○
	電話番号	０３（○○○○）○○○○
	メールアドレス	********@***.**

3　取組内容（概要）

太陽光発電にてグリーン水素を製造、〇〇で貯蔵し、定置式燃料電池にて施設への電力供給や熱供給を実施。

取組内容の特徴やポイントをコンパクトに示す図や資料を必ず添付してください（必須）。

4　取組の意義・効果

本取組を進めることで、事業所内でのエネルギー消費に伴う C02 排出量の削減が見込まれる。また本システムを複数の建物に実装することを目指しており、その取組の第一歩となる。

5　今後のグリーン水素の利用予定

本取組の本年度のグリーン水素利用量は、今回、認証申請した昨年度の実績量と同程度を見込んでいる。

グリーン水素利用に関する計画書があれば添付ください。

6　グリーン水素利用各事業所の概要

概要-1

事務所名	概　　要		
A事業所	住所		東京都〇区〇町〇丁目〇番〇号
	グリーン水素利用設備	種類	純水素燃料電池
		能力・容量等	〇〇ｋW
	グリーン水素製造	製造方法	敷地内の太陽光発電を利用して水電解装置で水素を製造
	グリーン水素利用量	オンサイト型（地産地消）	〇〇Ｎｍ^3／年
		オンサイト型	－

概要-2

事務所名	概　　要		
	住所		
	グリーン水素利用設備	種類	
		能力・容量等	
	グリーン水素製造	製造方法	
	グリーン水素利用量	オンサイト型（地産地消）	
		オンサイト型	

注）複数事業所でグリーン水素を利用している場合に記入

※グリーン水素利用事業所の数に応じて上記概要の枠を追加して記載ください。

様式第１号－２【オフサイト型】

令和○年○月○日

東京都知事　殿

申請者
住　　所　東京都○区○町○丁目○番○号
法 人 名　株式会社○○○○
代 表 者　代表取締役　　○○　○○
電話番号　０３－○○○○－○○○○

グリーン水素率先利用事業者認証申請書
〔オフサイト型〕

グリーン水素率先利用事業者認証制度実施要綱第５条の規定により、前年度のグリーン水素の利用に係る実績の認証を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

１　認証申請区分
オフサイト型

２　認証根拠

認証の根拠		※必要条件	
継続性	年間グリーン水素利用実績月数	※２ヵ月以上の利用実績	４か月
	年間グリーン水素利用量	※オフサイト型：５００Nm³／年以上	○○Nm³／年
その他	※オフサイト型：運搬車両は ZEV（EV 車両若しくは FC 車両）で運搬、又は運搬した際の温室効果ガス排出量をオフセットしていること。		

担当者連絡先	住所	東京都○区○丁目○番○号
	所属	株式会社○○　○○部
	氏名	○○　○○
	電話番号	０３（○○○○）○○○○
	メールアドレス	********@***.**

3　取組内容（概要）

○○県で製造されたグリーン水素を調達し、地域冷暖房施設内に設置した水素ボイラで利用。発生蒸気は地域へ供給した。

取組内容の特徴やポイントをコンパクトに示す図や資料を必ず添付してください（必須）。

4　取組の意義・効果

複数施設へ一括で効率良くエネルギー供給する地域冷暖房において、グリーン水素を利用することにより、さらなる CO2 排出量削減へ貢献する。

5　今後のグリーン水素の利用予定

本取組のグリーン水素利用量は、今回、認証申請した昨年度の実績量と同程度を見込んでいる。ただし、諸事情によりグリーン水素が購入できない場合は、通常の水素を利用する可能性もある。

グリーン水素利用に関する計画書があれば添付ください。

6　グリーン水素利用各事業所の概要

概要-1

事務所名	概　　要		
A事業所	住所		東京都○区○町○丁目○番○号
	グリーン水素利用設備	種類	水素ボイラ
		能力・容量等	○○kg/h（換算蒸発量）
	グリーン水素調達	調達方法	○○県○○市で太陽光発電電力により製造した水素を、カードル輸送により調達
		水素製造者	○○○○（株）
		水素供給者	○○○○（株）
	グリーン水素利用量	利用量	○○Nm^3／年

概要-2

事務所名	概　　要		
	住所		
	グリーン水素利用設備	種類	
		能力・容量等	
	グリーン水素調達	注）複数事業所でグリーン水素を利用している場合に記入	
		水素製造者	
		水素供給者	
	グリーン水素利用量	利用量	

※グリーン水素利用事業所の数に応じて上記概要の枠を追加して記載ください。

様式第１号－３【少量利用型（オンサイト方式）】

令和○年○月○日

東京都知事　殿

申請者
住　　所　東京都○区○町○丁目○番○号
法 人 名　株式会社○○○○
代 表 者　代表取締役　　○○　○○
電話番号　０３－○○○○－○○○○

グリーン水素率先利用事業者認証申請書
〔少量利用型（オンサイト方式）〕

グリーン水素率先利用事業者認証制度実施要綱第５条の規定により、前年度のグリーン水素の利用に係る実績の認証を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

１　認証申請区分
少量利用型（オンサイト方式）

２　認証根拠

認証の根拠		※必要条件	
継続性	年間グリーン水素利用実績月数	※１ヵ月以上の利用実績	２か月
	年間グリーン水素利用量	※０Nm³／年よりも大きい値	50Nm³／年
その他	※オンサイト方式でグリーン水素を利用していること。		

担当者連絡先	住所	東京都○区○丁目○番○号
	所属	株式会社○○　○○部
	氏名	○○　○○
	電話番号	０３（○○○○）○○○○
	メールアドレス	********@***.**

3　取組内容（概要）

太陽光発電にてグリーン水素を製造、〇〇で貯蔵し、定置式燃料電池にて施設への電力供給や熱供給が可能な体制を構築。災害時の運用を見込む。令和〇年度は、稼働確認作業時に実際にグリーン水素を利用。

取組内容の特徴やポイントをコンパクトに示す図や資料を必ず添付してください（必須）。

4　取組の意義・効果

災害時において、地産地消の再エネ由来エネルギーが利用可能であるため、環境対策に加え、防災対策強化につながる。

5　今後のグリーン水素の利用予定

今後の毎年のグリーン水素利用量は、今回、認証申請した令和〇度の実績量と和〇年度とほぼ同じ見込み。

グリーン水素利用に関する計画書があれば添付ください。

6　グリーン水素利用各事業所の概要

概要-1

事務所名	概　　要		
A事業所	住所		東京都〇区〇町〇丁目〇番〇号
	グリーン水素利用設備	種類	純水素燃料電池
		能力・容量等	〇〇ｋＷ
	グリーン水素製造	製造方法	敷地内の太陽光発電を利用して水電解装置で水素を製造

概要-2

事務所名	概　　要		
	住所		
	グリーン水素利用設備	種類	
		能力・容量等	
	グリーン水素製造	製造方法	

注）複数事業所でグリーン水素を利用している場合に記入

※グリーン水素利用事業所の数に応じて上記概要の枠を追加して記載ください。

様式第１号－４【少量利用型（オフサイト方式）】

令和○年○月○日

東京都知事　殿

申請者
住　　所　東京都○区○町○丁目○番○号
法 人 名　株式会社○○○○
代 表 者　代表取締役　　○○　○○
電話番号　０３－○○○○－○○○○

グリーン水素率先利用事業者認証申請書
〔少量利用型（オフサイト方式）〕

グリーン水素率先利用事業者認証制度実施要綱第５条の規定により、前年度のグリーン水素の利用に係る実績の認証を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

１　認証申請区分
少量利用型（オフサイト方式）

２　認証根拠

認証の根拠		※必要条件	
継続性	年間グリーン水素利用実績月数	※１ヵ月以上の利用実績	５か月
	年間グリーン水素利用量	※０Nm³／年よりも大きい値	50Nm³／年
その他	※オフサイト方式でグリーン水素を利用していること。		

担当者連絡先	住所	東京都○区○丁目○番○号
	所属	株式会社○○　○○部
	氏名	○○　○○
	電話番号	０３（○○○○）○○○○
	メールアドレス	********@***.**

3　取組内容（概要）

年に３回行われたイベントにおいて、水素グリルを稼働。使用した水素は○○県で製造されたグリーン水素である。

取組内容の特徴やポイントをコンパクトに示す図や資料を必ず添付してください（必須）。

4　取組の意義・効果

化石燃料を使用するグリルと比較し、燃焼時の CO2 排出量の低減効果がある。またグリーン水素の PR 効果も期待できる。

5　今後のグリーン水素の利用予定

今後、グリーン水素の利用を継続する予定で、本年度は同程度のイベント実施回数を見込んでいるため、グリーン水素利用量は今回認証申請を行う昨年度実績と同程度の量と予測される。

グリーン水素利用に関する計画書があれば添付ください。

6　グリーン水素利用各事業所の概要

概要-1

事務所名	概　　要		
A事業所	住所		東京都○区○町○丁目○番○号
	グリーン水素利用設備	種類	水素グリル
		能力・容量等	バーナー本数：３本
	グリーン水素調達	調達方法	○○県○○市において、系統電力と環境価値（○○）を用いて製造された水素を、カードルにより調達
		水素製造者	○○○○（株）
		水素供給者	○○○○（株）
	グリーン水素利用量	利用量	○○Nm^3／年

概要-2

事務所名	概　　要		
	住所		
	グリーン水素利用設備	種類	
		能力・容量等	
	グリーン水素調達	調達方法	
		水素製造者	
		水素供給者	
	グリーン水素利用量	利用量	

注）複数事業所でグリーン水素を利用している場合に記入

※グリーン水素利用事業所の数に応じて上記概要の枠を追加して記載ください。

②様式第２号　各事業所の詳細

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	○	○	○	○
用いる様式	第２号ー１		第２号―２	（オンサイト方式の場合） 第２号―３ （オフサイト方式の場合） 第２号―４

＜記入の注意事項＞

・　記載内容は、様式第１号に記載した内容と整合的であるようにしてください。

【認証対象とならないケース】

①　様式第２号に記載されている「水素利用設備の概要」における設備の種類・能力が、様式第１号「６．グリーン水素利用各事業所の概要」に記載されている内容と一致しない。

・　事業所等内での「水素の消費量」と「対象グリーン水素製造（調達）量」に齟齬がないようにしてください。

【認証対象とならないケース】

①　「水素利用設備の概要」における「水素の消費量」に比べ、「水素製造（調達）経路」における「対象グリーン水素製造（調達）量」が著しく少ない値となっている。

・　グリーン水素の製造場所、製造方法（再エネ電力）、水素製造設備の情報を記載してください。

【認証対象とならないケース】

①　「水素製造（調達）経路」における「再エネ電力」の「確保手段」について「直接利用」、「間接調達」いずれも選択されていない。

②　水素製造設備の情報が記載されていない。

様式第２号－１【オンサイト型】

各事業所の詳細

事業所名	A事業所		
住所	東京都○区○町○丁目○番○号		
水素利用設備の概要			
設備１	種　　類		純水素型燃料電池
	能　　力		○○ｋＷ
	設　置　時　期		令和○年○月○日
	運用開始時期		令和○年○月○日
	水素消費量		○○Ｎｍ^3／ｈ
設備２	種　　類		
	能　　力		
	設　置　時　期		
	運用開始時期		
	水素消費量		
水素製造経路の概要			
製造経路１	対象グリーン水素製造量		○○Ｎｍ^3／年
	グリーン水素を製造した場所	住所	東京都○区○町○丁目○番○号
	再エネ電力	確保手段	☑ 直接利用　　☐ 間接調達
		概　要	敷地内に設置した太陽光発電 容量○○ｋＷ
	水素製造設備	種　類	水電解水素製造装置
		能　力	○○Ｎｍ^3／ｈ
		設　置　時　期	令和○年○月○日
		消費電力量	○○○○ｋＷｈ／Ｎｍ^3－H_2
		運用開始時期	令和○年○月○日
	グリーン水素の該当区分		☑ オンサイト型（地産地消） ☐ オンサイト型
製造経路２	対象グリーン水素製造量		
	グリーン水素を製造した場所	住所	
	再エネ電力	確保手段	☐ 直接利用　　☐ 間接調達
		概　要	
	水素製造設備	種　類	
		能　力	
		設　置　時　期	
		消費電力量	
		運用開始時期	
	グリーン水素の該当区分		☐ オンサイト型（地産地消） ☐ オンサイト型

注）複数経路でグリーン水素を製造している場合に記入

※設備、製造経路の数が多い場合は適宜枠を追加して記載ください。

様式第２号－２【オフサイト型】

各事業所の詳細

<table>
<tr><td>事業所名</td><td colspan="3">A事業所</td></tr>
<tr><td>住所</td><td colspan="3">東京都○区○町○丁目○番○号</td></tr>
<tr><td colspan="4">水素利用設備の概要</td></tr>
<tr><td rowspan="5">設備１</td><td colspan="2">種　　類</td><td>水素ボイラ</td></tr>
<tr><td colspan="2">能　　力</td><td>○○kg/h（換算蒸発量）</td></tr>
<tr><td colspan="2">設 置 時 期</td><td>令和○年○月○日</td></tr>
<tr><td colspan="2">運用開始時期</td><td>令和○年○月○日</td></tr>
<tr><td colspan="2">水素消費量</td><td>○○Nm^3／h</td></tr>
<tr><td rowspan="5">設備２</td><td colspan="2">種　　類</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">能　　力</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">設 置 時 期</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">運用開始時期</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">水素消費量</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">水素調達経路の概要</td></tr>
<tr><td rowspan="11">調達経路１</td><td colspan="2">対象グリーン水素調達量</td><td>○○Nm^3／年</td></tr>
<tr><td rowspan="2">グリーン水素を供給した者</td><td>名称</td><td>○○○○（株）</td></tr>
<tr><td>住所</td><td>○○県○市○町○丁目○番○号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">グリーン水素を製造した者</td><td>名称</td><td>○○○○（株）</td></tr>
<tr><td>住所</td><td>○○県○市○町○丁目○番○号</td></tr>
<tr><td>グリーン水素を製造した場所</td><td>住所</td><td>○○県○市○町○丁目○番○号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">再エネ電力</td><td>確保手段</td><td>☑ 直接利用　　□ 間接調達</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td>敷地内に設置した太陽光発電
容量○○kW</td></tr>
<tr><td rowspan="3">水素製造設備</td><td>種　類</td><td>水電解水素製造装置</td></tr>
<tr><td>能　力</td><td>○○Nm^3／h</td></tr>
<tr><td>消費電力量</td><td>○○○○kWh／Nm^3－H_2</td></tr>
</table>

調達経路２	対象グリーン水素調達量		
	グリーン水素を供給した者	名称	
		住所	
	グリーン水素を製造した者	名称	
		住所	
	グリーン水素を製造した場所	住所	
	再エネ電力	確保手段	□ 直接利用　　□ 間接調達
		概　要	
	水素製造設備	種　類	
		能　力	
		消費電力量	

注）複数経路でグリーン水素を調達している場合に記入

※設備、調達経路の数が多い場合は適宜枠を追加して記載ください。

様式第２号－３【少量利用型（オンサイト方式）】

各事業所の詳細

事業所名	A事業所		
住所	東京都○区○町○丁目○番○号		
水素利用設備の概要			
設備１	種　　類		純水素型燃料電池
	能　　力		○○ｋＷ
	設　置　時　期		令和○年○月○日
	運用開始時期		令和○年○月○日
	水素消費量		○○Ｎｍ^3／ｈ
設備２	種　　類		
	能　　力		
	設　置　時　期		
	運用開始時期		
	水素消費量		
水素製造経路の概要			
製造経路１	対象グリーン水素製造量		○○Ｎｍ^3／年
	グリーン水素を製造した場所	住所	東京都○区○町○丁目○番○号
	再エネ電力	確保手段	☑ 直接利用　　☐ 間接調達
		概　要	敷地内に設置した太陽光発電 容量○○ｋＷ
	水素製造設備	種　類	水電解水素製造装置
		能　力	○○Ｎｍ^3／ｈ
		設　置　時　期	令和○年○月○日
		消費電力量	○○○○ｋＷｈ／Ｎｍ^3－H_2
		運用開始時期	令和○年○月○日
製造経路２	対象グリーン水素製造量		
	グリーン水素を製造した場所	住所	
	再エネ電力	確保手段	☐ 直接利用　　☐ 間接調達
		概　要	
	水素製造設備	種　類	
		能　力	
		設　置　時　期	
		消費電力量	
		運用開始時期	

※設備、製造経路の数が多い場合は適宜枠を追加して記載ください。

様式第２号－４【少量利用型（オフサイト方式）】

各事業所の詳細

<table>
<tr><td>事業所名</td><td colspan="3">A事業所</td></tr>
<tr><td>住所</td><td colspan="3">東京都○区○町○丁目○番○号</td></tr>
<tr><td colspan="4">水素利用設備の概要</td></tr>
<tr><td rowspan="5">設備１</td><td colspan="2">種　　類</td><td>水素グリル</td></tr>
<tr><td colspan="2">能　　力</td><td>バーナー本数：３本</td></tr>
<tr><td colspan="2">設 置 時 期</td><td>令和○年○月○日</td></tr>
<tr><td colspan="2">運用開始時期</td><td>令和○年○月○日</td></tr>
<tr><td colspan="2">水素消費量</td><td>○○NL/min</td></tr>
<tr><td rowspan="5">設備２</td><td colspan="2">種　　類</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">能　　力</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">設 置 時 期</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">運用開始時期</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">水素消費量</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">水素調達経路の概要</td></tr>
<tr><td rowspan="11">調達経路１</td><td colspan="2">対象グリーン水素調達量</td><td>○○Nm^3／年</td></tr>
<tr><td rowspan="2">グリーン水素を供給した者</td><td>名称</td><td>○○○○（株）</td></tr>
<tr><td>住所</td><td>○○県○市○町○丁目○番○号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">グリーン水素を製造した者</td><td>名称</td><td>○○○○（株）</td></tr>
<tr><td>住所</td><td>○○県○市○町○丁目○番○号</td></tr>
<tr><td>グリーン水素を製造した場所</td><td>住所</td><td>○○県○市○町○丁目○番○号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">再エネ電力</td><td>確保手段</td><td>☐ 直接利用　　☑ 間接調達</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td>水素製造に使用した系統電力量に相当する環境価値（○○）を調達</td></tr>
<tr><td rowspan="3">水素製造設備</td><td>種　類</td><td>水電解水素製造装置</td></tr>
<tr><td>能　力</td><td>○○Nm^3／h</td></tr>
<tr><td>消費電力量</td><td>○○○○kWh／Nm^3－H_2</td></tr>
</table>

調達経路２	対象グリーン水素調達量		
	グリーン水素を供給した者	名称	
		住所	
	グリーン水素を製造した者	名称	
		住所	
	グリーン水素を製造した場所	住所	
	再エネ電力	確保手段	□ 直接利用　　□ 間接調達
		概　要	
	水素製造設備	種　類	
		能　力	
		消費電力量	

※設備、調達経路の数が多い場合は適宜枠を追加して記載ください。

③様式第３号　グリーン水素の利用量の内訳（月別）

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	○	○	○	○
用いる様式	第３号ー１		第３号―２	（オンサイト方式の場合） 第３号―３ （オフサイト方式の場合） 第３号―４

＜記入の注意事項＞

・　記載内容は、様式第１号に記載した内容と整合的であるようにしてください。

【認証対象とならないケース】

①　様式第３号に記載されているグリーン水素の利用量の年間の合計値が、様式第１号「２．認証根拠」に記載されているグリーン水素の利用量と一致しない。

・　各月の利用量の根拠を示すデータを別に添付してください。

様式第３号－１【オンサイト型】

グリーン水素の利用量の内訳（月別）

グリーン水素を利用した事業所（住所）		A事業所（東京都○区○町○丁目○番○号）		
グリーン水素の利用量（合計）		○○Nm³／年		
グリーン水素の区分		オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	合計
水素製造経路		1		
月別（N m³）	4月	○○Nm³		○○Nm³
	5月	○○Nm³		○○Nm³
	6月	○○Nm³		○○Nm³
	7月	○○Nm³		○○Nm³
	8月	○○Nm³		○○Nm³
	9月	○○Nm³		○○Nm³
	10月	○○Nm³		○○Nm³
	11月	○○Nm³		○○Nm³
	12月	○○Nm³		○○Nm³
	1月	○○Nm³		○○Nm³
	2月	○○Nm³		○○Nm³
	3月	○○Nm³		○○Nm³
計		○○Nm³		○○Nm³

※　上記で記入した各月の利用量の根拠を示すデータを別に添付してください。

様式第３号－２【オフサイト型】

グリーン水素の利用量の内訳（月別）

グリーン水素を利用した事業所（住所）		A事業所 （東京都○区○町○丁目○番○号）		
グリーン水素の利用量（合計）		○○Nm³／年		
グリーン水素の区分		オフサイト型		合計
水素調達経路		1		
月別（N m³）	4月	○○Nm³		○○Nm³
	5月	○○Nm³		○○Nm³
	6月	○○Nm³		○○Nm³
	7月	○○Nm³		○○Nm³
	8月	○○Nm³		○○Nm³
	9月	○○Nm³		○○Nm³
	10月	○○Nm³		○○Nm³
	11月	○○Nm³		○○Nm³
	12月	○○Nm³		○○Nm³
	1月	○○Nm³		○○Nm³
	2月	○○Nm³		○○Nm³
	3月	○○Nm³		○○Nm³
計		○○Nm³		○○Nm³

※上記で記入した各月の利用量の根拠を示すデータを別に添付してください。

様式第３号－３【少量利用型（オンサイト方式）】

グリーン水素の利用量の内訳（月別）

グリーン水素を利用した事業所（住所）		A事業所（東京都○区○町○丁目○番○号）		
グリーン水素の利用量（合計）		○○Nm³／年		
グリーン水素の区分		少量利用型（オンサイト方式）		合計
水素製造経路		1		
月別（N m³）	4月			
	5月	○○Nm³		○○Nm³
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月	○○Nm³		○○Nm³
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
計		○○Nm³		○○Nm³

※上記で記入した各月の利用量の根拠を示すデータを別に添付してください。

様式第３号－４【少量利用型（オフサイト方式）】

グリーン水素の利用量の内訳（月別）

グリーン水素を利用した事業所（住所）		A事業所（東京都○区○町○丁目○番○号）		
グリーン水素の利用量（合計）		○○Nm³／年		
グリーン水素の区分		少量利用型（オフサイト方式）		合計
水素調達経路		1		
月別（N m³）	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月	○○Nm³		○○Nm³
	9月			
	10月			
	11月			
	12月	○○Nm³		○○Nm³
	1月	○○Nm³		○○Nm³
	2月			
	3月			
計		○○Nm³		○○Nm³

※上記で記入した各月の利用量の根拠を示すデータを別に添付してください。

④様式第３号　別添１　グリーン水素の製造根拠について

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	○	○	○	○
用いる様式	第３号 別添１－１		第３号 別添１―２	（オンサイト方式の場合） 第３号 別添１－１ （オフサイト方式の場合） 第３号 別添１－２

＜記入の注意事項＞

・　製造（調達）経路毎での「水素の製造時に消費した電力量」と「用いた再エネ電力量」の合計値に、齟齬がないようにしてください。

【認証対象とならないケース】

①　「水素の製造時に消費した電力量」が「用いた再エネ電力量」の合計値を著しく上回っている。

・　オフサイト型又は少量利用型（オフサイト方式）の場合、水素製造者に確認を行い、上記を記載いただくか、その水素が再エネ電力で製造されたことを示す資料を添付してください。

様式第３号　別添１－１【オンサイト型／少量利用型（オンサイト方式）】

グリーン水素の製造根拠について（製造経路毎）

<table>
<tr><td colspan="5">水素製造経路番号(様式第１号)　：1</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象となる水素製造量
※㋐≦㋑であること。</td><td colspan="3">○○Nm³／年</td></tr>
<tr><td colspan="2">グリーン水素の該当区分</td><td colspan="3">☑ オンサイト型（地産地消）
☐ オンサイト型
☐ 少量利用型（オンサイト方式）</td></tr>
<tr><td colspan="2">水素の製造時に消費した電力量㋐</td><td colspan="3">○○○ｋＷｈ/年</td></tr>
<tr><td colspan="2">水素製造時の消費電力量の根拠
※根拠資料を添付ください。</td><td colspan="3">☐水素製造装置の記録データ
☐水素製造装置に設置した電力量計データ
☑水素製造装置の定格水素製造量等からの推計値
例１）年間水素製造量[Nm³/年]÷機器定格容量[Nm³/h]×定格電力消費量[kWh/h]
例２）年間水素製造量[Nm³/年]×水素製造量あたり電力消費量[kWh/Nm³]
例３）年間水素製造量[Nm³/年]×水素高位発熱量 12.8[MJ/Nm³]÷単位換算係数 3.6[MJ/kWh]÷水素製造効率[%]×100
計算式：○○Nm3/年÷○○Nm3/h×○○kWh/h＝○○kWh/年
☐その他：</td></tr>
<tr><td colspan="2">再エネ確保手段</td><td>用いた手段</td><td>用いた再エネ発電設備概要</td><td>用いた再エネ電力量㋑</td></tr>
<tr><td rowspan="4">直接利用</td><td>①グリーン水素製造者が保有する再エネ発電設備から供給された電力を活用</td><td>☑</td><td>種別：太陽光発電
容量：○○kW</td><td>○○○○ｋＷｈ/年</td></tr>
<tr><td>②グリーン水素製造者が敷地内に設置した他者が保有する再エネ発電設備から供給された電力を購入</td><td>☐</td><td></td><td>ｋＷｈ/年</td></tr>
<tr><td>③グリーン水素製造者が敷地外に設置した他者が保有する再エネ発電設備から専用インフラを経由して供給された電力を購入</td><td>☐</td><td></td><td>ｋＷｈ/年</td></tr>
<tr><td>合　計㋑</td><td colspan="3">○○○○ｋＷｈ/年</td></tr>
<tr><td rowspan="4">間接調達</td><td>④グリーン水素製造者の敷地外に設置した再エネ発電設備から系統インフラを経由して電力を調達</td><td>☐</td><td></td><td>ｋＷｈ/年</td></tr>
<tr><td>⑤電力小売事業者との契約により再エネ電力メニューを購入</td><td>☐</td><td>－</td><td>ｋＷｈ/年</td></tr>
<tr><td>⑥その他調達手段</td><td>☐</td><td>－</td><td>ｋＷｈ/年</td></tr>
<tr><td>合　計㋑</td><td colspan="3">ｋＷｈ/年</td></tr>
</table>

※水素製造経路ごとに作成ください。

様式第３号　別添１－２【オフサイト型／少量利用型（オフサイト方式）】

グリーン水素の製造根拠について（調達経路毎）

水素調達経路番号(様式第１号)　：1				
対象となる水素製造量 ※㋐≦㋑であること。		○○Nm³／年		
グリーン水素の該当区分		☑ オフサイト型 □ 少量利用型（オフサイト方式）		
水素の製造時に消費した電力量㋐		kWh/年		
水素製造時の消費電力量の根拠 ※根拠資料を添付ください。		□水素製造装置の記録データ □水素製造装置に設置した電力量計データ ☑水素製造装置の定格水素製造量からの推計値 例１）年間水素製造量[Nm³/年]÷機器定格容量[Nm³/h]×定格電力消費量[kWh/h] 例２）年間水素製造量[Nm³/年]×水素製造量あたり電力消費量[kWh/Nm³] 例３）年間水素製造量[Nm³/年]×水素高位発熱量 12.8[MJ/Nm³]÷単位換算係数 3.6[MJ/kWh]÷水素製造効率[%]×100 計算式：○○Nm3/年÷○○Nm3/h×○○kWh/h＝○○kWh/年 □その他：		
再エネ確保手段		用いた手段	用いた再エネ発電設備概要	用いた再エネ電力量㋑
直接利用	①グリーン水素製造者が保有する再エネ発電設備から供給された電力を活用	☑	種別：太陽光発電 容量：○○kW	○○○kWh/年
	②グリーン水素製造者が敷地内に設置した他者が保有する再エネ発電設備から供給された電力を購入	□		kWh/年
	③グリーン水素製造者が敷地外に設置した他者が保有する再エネ発電設備から専用インフラを経由して供給された電力を購入	□		kWh/年
	合　計㋑			○○○kWh/年
間接調達	④グリーン水素製造者の敷地外に設置した再エネ発電設備から系統インフラを経由して電力を調達	□		kWh/年
	⑤電力小売事業者との契約により再エネ電力メニューを購入	□	－	kWh/年
	⑥その他調達手段	☑	グリーン電力証書	○○○kWh/年
	合　計㋑			○○○kWh/年

※水素製造者に確認を行い、上記を記載いただくか、その水素が再エネ電力で製造されたことを示す資料を添付してください。

※　水素調達経路ごとに作成ください。

⑤様式第３号　別添２　グリーン水素利用設備のある事業所周辺の見取り図

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	○	○	○	○
用いる様式	第３号　別添２			

＜記入の注意事項＞

- 事業所の場所が明確に分かるようにしてください。
- 添付いただく事業所の外観写真については、取組 PR のため、東京都ホームページに掲載する可能性があります。

⑥様式第３号　別添３　グリーン水素利用設備の設置場所が確認できる書類

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	○	○	○	○
用いる様式	第３号　別添３			

＜記入の注意事項＞

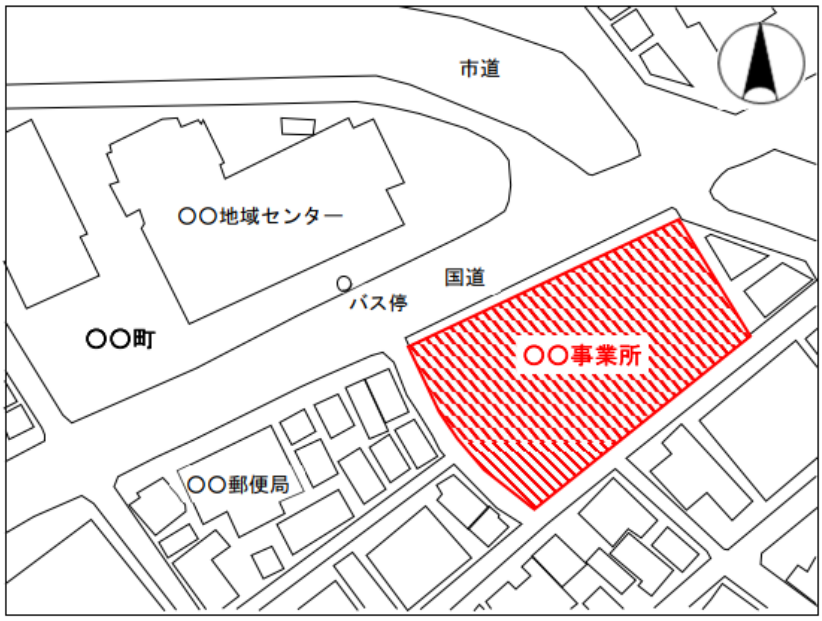
- 事業所内でのグリーン水素利用設備の場所が明確に分かるようにしてください。
- 添付いただく設備全体の外観写真については、取組 PR のため、東京都ホームページに掲載する可能性があります。

様式第３号　別添２【共通】

グリーン水素利用設備のある事業所周辺の見取り図

○○事業所

（東京都○区○町○丁目○番○号）



※１　事業所の場所が明確に分かるようにしてください。

※２　最寄りのバス停等からの主な目標を入れて示してください。

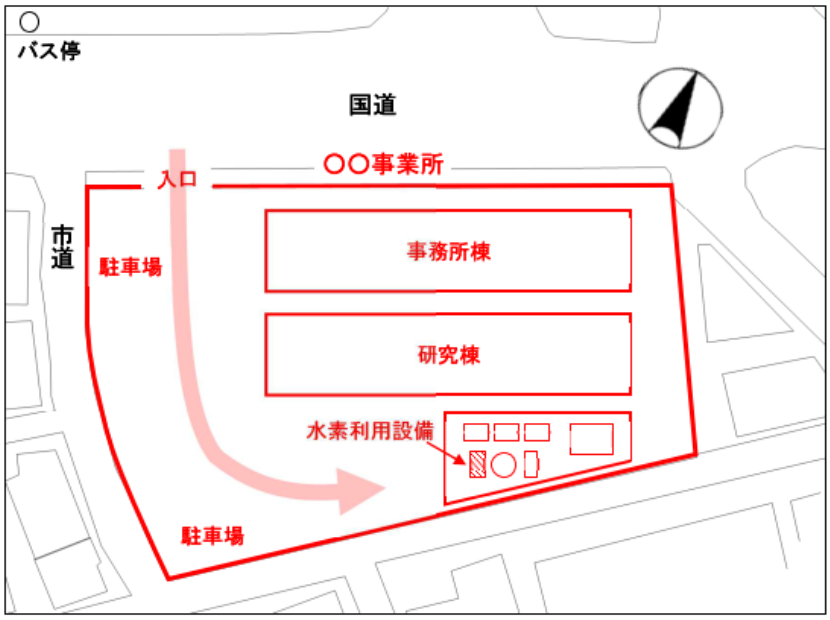
※３　事業所の外観写真を添付ください。

様式第３号　別添３【共通】

グリーン水素利用設備の設置場所が確認できる書類

○○事業所内

（東京都○区○町○丁目○番○号）



※１　事業所内の敷地と建物が示された平面図で示してください。

※２　事業所の入り口からグリーン水素利用設備までの経路が分かるようにしてください。

※３　設備全体の外観写真を添付ください。

⑦様式第３号　別添４　グリーン水素の製造、供給、利用のフロー図並びに関連資料

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	○	○	○	○
用いる様式	第３号　別添４			

＜記入の注意事項＞

- グリーン水素の製造、供給、利用までのフローを各段階に分けて明確に示してください。
- 記載内容については、取組 PR のため、東京都ホームページに掲載する可能性があります。

様式第３号　別添４【共通】

グリーン水素の製造、供給、利用のフロー図並びに関連資料

※１　製造、供給、利用の各段階に分けて、グリーン水素の利用に関連する主な設備とエネルギーの流れを示してください。

※２　調達経路毎に作成ください。

⑧様式第３号　別添５　各設備の仕様並びに水素利用量の把握について

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	○	○	○	○
用いる様式	第３号 別添５－１		第３号 別添５―２	（オンサイト方式の場合） 第３号 別添５－１ （オフサイト方式の場合） 第３号 別添５－２

＜記入の注意事項＞

- 設備の容量・能力・概要・設置場所が分かる図面・仕様書・パンフレット等を添付してください。
- グリーン水素の利用量、水素の製造量・消費電力の把握方法を記載してください。

様式第３号　別添５－１【オンサイト型／少量利用型（オンサイト方式）】

各設備の仕様並びに水素利用量の把握について

○グリーン水素利用設備の仕様等

メーカー名		株式会社○○○○
型番		○○-○○○○
種類		○○
能力		○kW（発電出力）
水素消費量	定格運転時	○Nℓ/min
	最大時	○Nℓ/min

※設備の容量・能力・概要・設置場所が分かる図面・仕様書・パンフレット等を添付ください。

○グリーン水素の利用量の把握方法

（記載例）

水素ホルダーとグリーン水素利用設備との間に計測器を取り付け、グリーン水素の利用量を常時把握している。

○水素製造時に利用した再エネ電力関連情報

※①～③の該当項目にご記載ください。

①再エネ発電設備の仕様等

メーカー名		株式会社○○○○
型番		○○-○○○○
種類		○○○型太陽光発電
能力	パネル等出力	○kW
	ＰＣＳ出力	○kW
設置場所		敷地内の○○建物屋上

※設備の容量・能力・概要・設置場所が分かる図面・仕様書・パンフレット等を添付ください。

②間接調達で電力小売事業者との契約により再エネ電力を調達している場合

電力小売事業者	○○○○電力
再エネ電力メニュー名	○○○○○
年間購入電力量	○kWh/年

※再エネメニューを活用していることを示す書類ならびに年間購入電力量を示す書類を添付ください。

③環境価値を調達している場合

環境価値の種類	グリーン電力証書
環境価値の換算量（年間）	○kWh/年

※国内の再エネ由来の環境価値であることを示す書類ならびに環境価値の換算量を示す書類を添付ください。

注）本制度において割り当て可能な環境価値の種類については、事務局にお問い合わせください。

○水素製造装置の能力・仕様

メーカー名		株式会社○○○○
機種		○○○○
型番		○○-○○○○
水素発生量		○Nm³/h
定格消費電力	いずれかを記載	○kWh/h
水素あたりの消費電力量		○kWh/Nm³
製造効率		○%

※設備の容量・能力・概要・設置場所が分かる図面・仕様書・パンフレット等を添付ください。

○水素の製造量・消費電力量の把握方法

（記載例）

水素製造量

水素ホルダーとグリーン水素製造設備との間に計測器を取り付け、水素の製造量を把握している。

消費電力量

水素製造装置に供給する電力系統に電力計測器を設置し、水素製造に伴う消費電力量を把握している。

様式第３号　別添５－２【オフサイト型／少量利用型（オフサイト方式）】

各設備の仕様並びに水素利用量の把握について

○グリーン水素利用設備の仕様等

メーカー名		株式会社○○○○
型番		○○-○○○○
種類		○○
能力		○○kg/h（換算蒸発量）
水素消費量	定格運転時	○○○Nm³/h
	最大時	○○○Nm³/h

※設備の容量・能力・概要・設置場所が分かる図面・仕様書・パンフレット等を添付ください。

○グリーン水素の利用量の把握方法

水素ホルダーとグリーン水素利用設備との間に計測器を取り付け、グリーン水素の利用量を常時把握している。（記載例）

○水素製造に利用した再エネ電力関連情報

※水素製造者に確認を行い、①～③の該当項目にご記載いただくか、調達した水素が再エネ電力で製造されたことを示す資料を添付してください。

①再エネ発電設備の仕様等

メーカー名		株式会社○○○○
型番		○○-○○○○
種類		○○○型太陽光発電
能力	パネル等出力	○kW
	ＰＣＳ出力	○kW
設置場所		敷地内に野立て設置

※設備の容量・能力・概要・設置場所が分かる図面・仕様書・パンフレット等を添付ください。

②間接調達で電力小売事業者との契約により再エネ電力を調達している場合

電力小売事業者	○○○○電力
再エネ電力メニュー名	○○○○○
年間購入電力量	○kWh/年

※再エネメニューを活用していることを示す書類ならびに年間購入電力量を示す書類を添付ください。

③環境価値を調達している場合

環境価値の種類	グリーン電力証書
環境価値の換算量（年間）	○kWh/年

※国内の再エネ由来の環境価値であることを示す書類ならびに環境価値の換算量を示す書類を添付ください。

注）本制度において割り当て可能な環境価値の種類については、事務局にお問い合わせください。

○水素製造装置の能力・仕様（水素製造者に確認を行い、ご記載ください。）

メーカー名		株式会社○○○○
機種		○○○○
型番		○○-○○○○
水素発生量		○Nm3/h
定格消費電力	いずれかを記載	○kWh/h
水素あたりの消費電力量	いずれかを記載	○kWh/Nm3
製造効率	いずれかを記載	○%

※設備の容量・能力・概要・設置場所が分かる図面・仕様書・パンフレット等を添付ください。

○水素の製造量・消費電力量の把握方法

（水素製造者に確認を行い、ご記載ください。）

（記載例）

水素製造量

水素ホルダーとグリーン水素製造設備との間に計測器を取り付け、水素の製造量を把握している。

消費電力量

水素製造装置に供給する電力系統に電力計測器を設置し、水素製造に伴う消費電力量を把握している。

⑨様式第３号　別添６　輸送時の二酸化炭素排出量の算定書

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性			○	
用いる様式	―		第３号 別添６	―

＜記入の注意事項＞

・　年間水素利用量の値が、様式第１号に記載した内容と整合的であるかを確認してください。

【認証対象とならないケース】

①　年間水素利用量の値が、様式第１号に記載された年間の利用量の値と一致しない。

・　「年間輸送回数」、または「輸送車両の最大積載量」、「水素受入タンク貯蔵可能量」のどちらかの項目に記載しているかを確認してください。

【認証対象とならないケース】

①　「年間輸送回数」が空欄であるにも関わらず、「輸送車両の最大積載量」「水素受入タンク貯蔵可能量」への記載がない。

・　「輸送車両の水素の最大積載量」は、水素の最大積載量の値を記載してください。

【認証対象とならないケース】

①　水素の最大積載量ではなく、一般的な積載物の最大積載量を記載している。

様式第３号　別添６【オフサイト型】

輸送時の二酸化炭素排出量の算定書

グリーン水素を製造した場所（住所）		○○県○○市○町○丁目○番○号
グリーン水素を利用した事業所（住所）		東京都○区○町○丁目○番○号
拠点間距離		○○ km
年間輸送回数		○○ 回/年
年間水素調達量		○○ Nm^3／年
輸送車両情報	車　名	○○○
	通称名	○○○
	型　式	○○○
	燃料種類	軽油
	輸送の区分	○○kg 以上○○kg 未満
	燃料基準区分	2025 基準
	燃　費	○．○○km/L
輸送車両の水素の最大積載量		○○○kg-H_2 （　○○　Nm^3）
水素受入タンク貯蔵可能量		○○○ kg-H_2 （　○○　Nm^3）
燃料の二酸化炭素排出係数		○．○○ t-CO_2/kL
輸送時の二酸化炭素排出量		○．○ t-CO_2

※輸送時の二酸化炭素排出量の算定方法

以下のいずれかの方法により、算定してください。

(1)年間輸送回数が分かる場合

CO2 排出量[t-CO2/年]＝拠点間距離[km][※1]×年間輸送回数[回/年]÷燃費[km/L][※2]×燃料 CO2 排出係数[t-CO2/kL][※3]÷1,000

(2)年間輸送回数が分からない場合

CO2 排出量[t-CO2/年]＝拠点間距離[km][※1]×年間水素利用量[Nm^3/年]÷（「水素受入タンク貯蔵可能量」と「輸送車両の最大積載量」のうち小さい方の値）[Nm^3]÷燃費[km/L][※2]×燃料 CO2 排出係数[t-CO2/kL][※3]÷1,000

※１：片道分の輸送距離と同等値

※２：以下２つのどちらかの値とする。

①「自動車燃費一覧（令和５年３月・国土交通省）」に掲載されている該当車種の燃費値

②「ロジスティクス分野における CO2 排出量算定方法共同ガイドライン Ver.3.2」の該当区分の見なし燃費（表１参照）

→「輸送の区分」のみ不明の場合は、17,000kg 以上の区分の燃費とする。「燃料基準区分」のみ不明の場合は、「燃費基準未達成等」の区分の燃費とする。

＊全て不明の場合は、「ロジスティクス分野における CO2 排出量算定方法共同ガイドライン Ver.3.2」の「輸送の区分」17,000kg 以上（事業用）且つ「燃費基準未達成等」に該当する見なし燃費とする。

「燃料基準区分」が不明の場合はこの値とする

表１．見なし燃費

輸送の区分			燃料基準区分（単位：km/リットル） 2025基準	2022基準	2015基準	燃費基準未達成等
事業用	揮発油	500kg未満		15.9	13.5	9.48
		500kg以上1, 500kg未満		10.5	8.49	6.51
		1, 500kg以上		8.79	6.96	5.53
	軽油	1, 000kg未満		12.9	10.2	9.31
		1, 000kg以上2, 000kg未満	8.50	8.50	6.93	6.28
		2, 000kg以上4, 000kg未満	6.33		5.28	4.78
		4, 000kg以上6, 000kg未満	5.13		4.36	3.93
		6, 000kg以上8, 000kg未満	4.55		3.91	3.52
		8, 000kg以上10, 000kg未満	3.88		3.37	3.03
		10, 000kg以上12, 000kg未満	3.65		3.19	2.86
		12, 000kg以上17, 000kg未満	3.35		2.96	2.66
		17, 000kg以上	2.97		2.65	2.38
自家用	揮発油	500kg未満		16.9	14.4	10.1
		500kg以上1, 500kg未満		11.1	8.98	6.89
		1, 500kg以上		9.01	7.14	5.67
	軽油	1, 000kg未満		14.9	11.8	10.7
		1, 000kg以上2, 000kg未満	9.48	9.48	7.72	7.00
		2, 000kg以上4, 000kg未満	6.71		5.60	5.06
		4, 000kg以上6, 000kg未満	5.45		4.63	4.18
		6, 000kg以上8, 000kg未満	4.73		4.07	3.67
		8, 000kg以上10, 000kg未満	4.08		3.54	3.18
		10, 000kg以上12, 000kg未満	3.78		3.30	2.97
		12, 000kg以上17, 000kg未満	3.52		3.11	2.79
		17, 000kg以上	2.99		2.67	2.40

「輸送の区分」が不明の場合はこの値とする

[出典]「ロジスティクス分野における CO2 排出量算定方法共同ガイドライン Ver.3.2（令和５年６月）」（経済産業省、国土交通省）

※３：「ロジスティクス分野における CO2 排出量算定方法共同ガイドライン Ver.3.2」に掲載されている燃料 CO2 排出係数の値を用いる。（表２参照）

表２．燃料の単位発熱量と排出係数

No.	燃料の種類	単位	①単位発熱量		②排出係数 (tC/GJ)	参考）③CO_2 排出係数 (①×②×44/12)
1	揮発油	kl	33.4	GJ/kl	0.0187	2.29 tCO_2/kl
2	ジェット燃料油	kl	36.3	GJ/kl	0.0186	2.48 tCO_2/kl
3	軽油	kl	38.0	GJ/kl	0.0188	2.62 tCO_2/kl
4	A 重油	kl	38.9	GJ/kl	0.0193	2.75 tCO_2/kl
5	B・C 重油	kl	41.8	GJ/kl	0.0202	3.10 tCO_2/kl
6	液化石油ガス（LPG）	t	50.1	GJ/t	0.0163	2.99 tCO_2/t
7	バイオエタノール	kl	23.4	GJ/kl	－	－
8	バイオディーゼル	kl	35.6	GJ/kl	－	－
9	バイオガス	千㎥	21.2	GJ/千㎥	－	－
10	水素	t	142	GJ/t	－	－
11	アンモニア	t	22.5	GJ/t	－	－

[出典]「ロジスティクス分野における CO2 排出量算定方法共同ガイドライン Ver.3.2（令和５年６月）」（経済産業省、国土交通省）

※計算シートの活用

●計算シートのエクセルデータに入力してください。

「輸送時の二酸化炭素排出量の算定書等」

●「記入方法」欄に記載されている内容を参考にした上で、「記入欄」の緑色のセルに入力してください。

「年間輸送回数」欄：

不明である場合は空欄とし、「輸送車両の最大積載量」欄、また「水素受入タンク貯蔵可能量」欄（水素受入タンクがある場合）に必ず記入してください。ただし「水素受入タンク貯蔵可能量」欄については、輸送車両若しくはその一部を複数日に渡り水素利用拠点に置き、水素貯蔵タンクと同等の機能を持たせた場合は、空欄としてください。

「車名」「通称名」「型式」欄：

「自動車燃費一覧（令和５年３月・国土交通省）」に掲載されている該当項目を記入してください。（不明であれば空欄としてください。）

「燃料種類」欄：

該当燃料をリストから選択してください。

「輸送の区分」欄：

車両の最大積載量の区分を記入する欄です。「ロジスティクス分野における CO2 排出量算定方法共同ガイドライン Ver.3.2」の見なし燃費表（表１参照）において、該当する「輸送の区分」を選択してください。（不明であれば空欄としてください。）

「燃料基準区分」欄：

車両に貼付されている燃費基準達成ステッカーに記載されている燃料基準区分を選択してください。（不明であれば空欄としてください。）

「燃費」欄：

以下２つのどちらかの値を入力してください。

①「自動車燃費一覧（令和５年３月・国土交通省）」に掲載されている該当車種の燃費値

②「ロジスティクス分野における CO2 排出量算定方法共同ガイドライン Ver.3.2」の該当区分の見なし燃費

→「輸送の区分」のみ不明であれば、17,000kg 以上の区分の燃費とする。「燃料基準区分」のみ不明であれば、「燃費基準未達成等」の区分の燃費とする。（表１参照）

※全て不明の場合は、「ロジスティクス分野における CO2 排出量算定方法共同ガイドライン Ver.3.2」の「輸送の区分」17,000kg 以上（事業用）且つ「燃費基準未達成等」に該当する見なし燃費とする。

（初期値では、「輸送の区分」「燃料基準区分」の入力データより計算された②の燃費値が表示されています。①の燃費値とする場合は該当車種の燃費値を入力してください。）

⑩様式第３号　別添７　輸送時の二酸化炭素排出量を削減するための取組

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	―	―	○	―
用いる様式	―		第３号 別添７	―

＜記入の注意事項＞

・　「輸送時の二酸化炭素排出量」の値は、様式第３別添６と整合的かどうかを確認してください。

【認証対象とならないケース】

①　「輸送時の二酸化炭素排出量」の値が、様式第３別添６に記載している「輸送時の二酸化炭素排出量」と同じ値となっていない。

・　カーボン・オフセットのクレジットを有していることを示す書類を添付してください。

様式第３号　別添７【オフサイト型】

輸送時の二酸化炭素排出量を削減する取組

輸送時の二酸化炭素排出量	○．○ $t\text{-}CO_2$
クレジットの種類	○○○○
クレジットの量	○．○ $t\text{-}CO_2$

※　クレジットの量は、自社で発生する二酸化炭素排出量へのカーボン・オフセットを実施（温対法や省エネ法での活用等）した分など、他用途で使用された分を除くボリュームを記入してください。また、クレジットを有していることを示す書類を添付ください。

⑪要件確認チェックシート

＜提出必要書類＞

	オンサイト型（地産地消）	オンサイト型	オフサイト型	少量利用型
提出の必要性	○	○	○	○
用いる様式	チェックシート【オンサイト型】		チェックシート【オフサイト型】	（オンサイト方式の場合） チェックシート【オンサイト方式】 （オフサイト方式の場合） チェックシート【オフサイト方式】

＜記入の注意事項＞

・　提出前に各書類の要件確認を行った上で、チェックシートとともに申請書類一式を提出してください。

●要件確認チェックシート【オンサイト型】

記入例

申請者名称：〇〇株式会社

令和７年度

				要件	要件を満たすことを確認	主な記載箇所
（1）				グリーン水素の利用に関する要件	－	－
	ア			都内の事務所等の敷地内に設置されたグリーン水素利用設備であり、製造した電気や熱などのエネルギーは当該事業所等内で利用しているか。	☑	●様式第１号－１（項目「６．グリーン水素利用各事業所の概要」の住所欄） ※様式第１号－１には取組内容（概要）について特徴やポイントを示す図や資料の添付が必須 ●様式第３号 別添４
	イ			グリーン水素利用設備において、グリーン水素の利用を次のとおり行っているか。	－	－
		（ア）		利用月数が２月以上となっているか。	☑	●様式第３号－１ ●根拠資料：〇〇年度水素利用設備運用データ
		（イ）		認証区分に該当する年間のグリーン水素利用量は100Nm3以上か。	☑	●様式第３号－１ ●根拠資料：〇〇年度水素利用設備運用データ
（2）				利用するグリーン水素に関する要件	－	－
	ア			利用するグリーン水素の製造に関する要件	－	－
		（ア）		日本国内において再生可能エネルギー電力を活用して製造したもの、もしくは、水素製造に伴い消費する電力に相当する環境価値を調達し、当該電力に割り当て製造したものか。	☑	●様式第２号－１（「グリーン水素を製造した場所」欄） ●様式第３号 別添４
		（イ）		再生可能エネルギー電力を活用してグリーン水素を製造する場合にあっては、当該再生可能エネルギー発電設備が再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づく設備認定を受けていること、又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第27条の27第１項に基づく発電事業届出がされていること、もしくは、当該発電設備の構造、エネルギー原の種類等を勘案して再生可能エネルギー電力を発電する設備であると認められること。	☑	●様式第３号 別添５－１（項目「〇水素製造時に利用した再エネ電力関連情報」の内容） ●根拠資料：太陽光発電設備仕様書
		（ウ）		グリーン水素製造設備を設置している事業所等に供給されている再生可能エネルギー電力の供給量（水素製造に充てる系統電力を環境価値で割り当てている場合は、環境価値換算量）が把握できているか。	☑	●様式第３号 別添１－１（「用いた再エネ電力量」欄） ●根拠資料：再エネメニュー〇〇の購入を示す書類
		（エ）		前年度１年間に累計したグリーン水素の製造に係る電力使用量が、グリーン水素製造設備の所在する事業所に供給されている同期間に累計した再生可能エネルギー電力量や調達した環境価値換算量と同等、又はそれを下回っているか。	☑	●様式第３号 別添１－１（「水素の製造時に消費した電力量」≦「用いた再エネ電力量」（合計）であることを確認）

●要件確認チェックシート【オフサイト型】

記入例

申請者名称：〇〇株式会社

令和７年度

				要件	要件を満たすことを確認	主な記載箇所
（1）				グリーン水素の利用に関する要件	－	－
	ア			都内の事務所等の敷地内に設置されたグリーン水素利用設備であり、製造した電気や熱などのエネルギーは当該事業所等内で利用しているか。	☑	●様式第１号－２（項目「６．グリーン水素利用各事業所の概要」の住所欄） ※様式第１号－１には取組内容（概要）について特徴やポイントを示す図や資料の添付が必須 ●様式第３号 別添４
	イ			グリーン水素利用設備において、グリーン水素の利用を次のとおり行っているか。	－	－
		（ア）		利用月数が２月以上となっているか。	☑	●様式第３号－２ ●根拠資料：〇〇年度水素利用設備運用データ
		（イ）		認証区分に該当する年間のグリーン水素利用量は500Nm3以上か。	☑	●様式第３号－２ ●根拠資料：〇〇年度水素利用設備運用データ
（2）				利用するグリーン水素に関する要件	－	－
	ア			利用するグリーン水素の製造に関する要件	－	－
		（ア）		日本国内において再生可能エネルギー電力を活用して製造したもの、もしくは、水素製造に伴い消費する電力に相当する環境価値を調達し、当該電力に割り当て製造したものか。	☑	●様式第２号－２（「グリーン水素を製造した場所」欄） ●様式第３号 別添４
		（イ）		再生可能エネルギー電力を活用してグリーン水素を製造する場合にあっては、当該再生可能エネルギー発電設備が再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づく設備認定を受けていること、又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第27条の27第１項に基づく発電事業届出がされていること、もしくは、当該発電設備の構造、エネルギー原の種類等を勘案して再生可能エネルギー電力を発電する設備であると認められること。	☑	●様式第３号 別添５－２（項目「〇水素製造時に利用した再エネ電力関連情報」の内容） ●根拠資料：〇〇太陽光発電所概要資料、〇〇会社からのメール回答
		（ウ）		グリーン水素製造設備を設置している事業所等に供給されている再生可能エネルギー電力の供給量（水素製造に充てる系統電力を環境価値で割り当てている場合は、環境価値換算量）が把握できているか。	☑	●様式第３号 別添１－２（「用いた再エネ電力量」欄） ●根拠資料：〇〇会社からのメール回答
		（エ）		前年度１年間に累計したグリーン水素の製造に係る電力使用量が、グリーン水素製造設備の所在する事業所に供給されている同期間に累計した再生可能エネルギー電力量や調達した環境価値換算量と同等、又はそれを下回っているか。	☑	●様式第３号 別添１－２（「水素の製造時に消費した電力量」≦「用いた再エネ電力量」（合計）であることを確認）
	イ			利用するグリーン水素の輸送に関する要件	－	－
		（ア）		国内にあるグリーン水素製造設備からグリーン水素の供給を受けているか。	☑	●様式第２号－２（「グリーン水素を製造した場所」欄） ●様式第３号 別添４
		（イ）		運搬車両はZEV（EV若しくはFC車両）で運搬、又は運搬した際の温室効果ガス排出量をオフセットしているか。	☑	●様式第３号 別添７（「輸送時の二酸化炭素排出量」≦「クレジットの量」を確認） ●根拠資料：J-クレジット無効化通知書の写し

●要件確認チェックシート【少量利用型（オンサイト方式）】　　記入例

申請者名称：〇〇株式会社　　令和７年度

				要件	要件を満たすことを確認	主な記載箇所
（1）				グリーン水素の利用に関する要件	－	－
	ア			都内の事務所等の敷地内に設置されたグリーン水素利用設備であり、製造した電気や熱などのエネルギーは当該事業所等内で利用しているか。	☑	●様式第１号－３（項目「６．グリーン水素利用各事業所の概要」の住所欄） ※様式第１号－１には取組内容（概要）について特徴やポイントを示す図や資料の添付が必須 ●様式第３号 別添４
	イ			グリーン水素利用設備において、グリーン水素の利用を次のとおり行っているか。	－	－
		（ア）		利用月数が１月以上となっているか。	☑	●様式第３号－３ ●根拠資料：〇〇年度水素利用設備運用データ
		（イ）		年間のグリーン水素利用量は0Nm3より大きい値か。	☑	●様式第３号－３ ●根拠資料：〇〇年度水素利用設備運用データ
（2）				利用するグリーン水素に関する要件	－	－
	ア			利用するグリーン水素の製造に関する要件	－	－
		（ア）		日本国内において再生可能エネルギー電力を活用して製造したもの、もしくは、水素製造に伴い消費する電力に相当する環境価値を調達し、当該電力に割り当て製造したものか。	☑	●様式第２号－３（「グリーン水素を製造した場所」欄） ●様式第３号 別添４
		（イ）		再生可能エネルギー電力を活用してグリーン水素を製造する場合にあっては、当該再生可能エネルギー発電設備が再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づく設備認定を受けていること、又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第27条の27第１項に基づく発電事業届出がされていること、もしくは、当該発電設備の構造、エネルギー原の種類等を勘案して再生可能エネルギー電力を発電する設備であると認められること。	☑	●様式第３号 別添５－１（項目「〇水素製造時に利用した再エネ電力関連情報」の内容） ●根拠資料：太陽光発電設備仕様書
		（ウ）		グリーン水素製造設備を設置している事業所等に供給されている再生可能エネルギー電力の供給量（水素製造に充てる系統電力を環境価値で割り当てている場合は、環境価値換算量）が把握できているか。	☑	●様式第３号 別添１－１（「用いた再エネ電力量」欄） ●根拠資料：再エネメニュー〇〇の購入を示す書類
		（エ）		前年度１年間に累計したグリーン水素の製造に係る電力使用量が、グリーン水素製造設備の所在する事業所等に供給されている同期間に累計した再生可能エネルギー電力量や調達した環境価値換算量と同等、又はそれを下回っているか。	☑	●様式第３号 別添１－１（「水素の製造時に消費した電力量」≦「用いた再エネ電力量」（合計）であることを確認）

●要件確認チェックシート【少量利用型（オフサイト方式）】　　記入例

申請者名称：〇〇株式会社　　令和７年度

				要件	要件を満たすことを確認	主な記載箇所
（1）				グリーン水素の利用に関する要件	－	－
	ア			都内の事務所等の敷地内に設置されたグリーン水素利用設備であり、製造した電気や熱などのエネルギーは当該事業所等内で利用しているか。	☑	●様式第１号－４（項目「６．グリーン水素利用各事業所の概要」の住所欄） ※様式第１号－１には取組内容（概要）について特徴やポイントを示す図や資料の添付が必須 ●様式第３号 別添４
	イ			グリーン水素利用設備において、グリーン水素の利用を次のとおり行っているか。	－	－
		（ア）		利用月数が１月以上となっているか。	☑	●様式第３号－４ ●根拠資料：〇〇年度水素利用設備運用データ
		（イ）		年間のグリーン水素利用量は0Nm3より大きい値か。	☑	●様式第３号－４ ●根拠資料：〇〇年度水素利用設備運用データ
（2）				利用するグリーン水素に関する要件	－	－
	ア			利用するグリーン水素の製造に関する要件	－	－
		（ア）		日本国内において再生可能エネルギー電力を活用して製造したもの、もしくは、水素製造に伴い消費する電力に相当する環境価値を調達し、当該電力に割り当て製造したものか。	☑	●様式第２号－４（「グリーン水素を製造した場所」欄） ●様式第３号 別添４
		（イ）		再生可能エネルギー電力を活用してグリーン水素を製造する場合にあっては、当該再生可能エネルギー発電設備が再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づく設備認定を受けていること、又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第27条の27第１項に基づく発電事業届出がされていること、もしくは、当該発電設備の構造、エネルギー原の種類等を勘案して再生可能エネルギー電力を発電する設備であると認められること。	☑	●様式第３号 別添５－２（項目「〇水素製造時に利用した再エネ電力関連情報」の内容） ●根拠資料：〇〇太陽光発電所概要資料、〇〇会社からのメール回答
		（ウ）		グリーン水素製造設備を設置している事業所等に供給されている再生可能エネルギー電力の供給量（水素製造に充てる系統電力を環境価値で割り当てている場合は、環境価値換算量）が把握できているか。	☑	●様式第３号 別添１－２（「用いた再エネ電力量」欄） ●根拠資料：グリーン電力証書の写し、〇〇年度水素製造設備運用データ
		（エ）		前年度１年間に累計したグリーン水素の製造に係る電力使用量が、グリーン水素製造設備の所在する事業所等に供給されている同期間に累計した再生可能エネルギー電力量や調達した環境価値換算量と同等、又はそれを下回っているか。	☑	●様式第３号 別添１－２（「水素の製造時に消費した電力量」≦「用いた再エネ電力量」（合計）であることを確認）
	イ			利用するグリーン水素の輸送に関する要件	－	－
		（ア）		国内にあるグリーン水素製造設備からグリーン水素の供給を受けているか。	☑	●様式第２号－４（「グリーン水素を製造した場所」欄） ●様式第３号 別添４

（４）申請書の送付先

グリーン水素率先利用事業者認証制度　申請窓口

郵送先　〒171-0033
東京都豊島区高田二丁目 17 番 22 号 目白中野ビル 6 階
株式会社エックス都市研究所内
「グリーン水素率先利用事業者認証制度申請窓口」

３　審査

基準を満たすグリーン水素の都内での利用について、審査会で審査を行います。

また、必要に応じ、事業所等への立入の調査を実施する場合があります。

審査結果の発表は毎年９月を予定しています。認証可、認証不可いずれの場合も、申請者宛に結果を通知します。

４　認証の取り扱い

（１）認証書の交付

認証された事業者等には、グリーン水素率先利用事業者認証書が交付されます。

認証された事業者等は、グリーン水素率先利用事業者として、次の情報が東京都ホームページで公表されます。

- 事業者等の名称
- グリーン水素を利用している事業所等の名称、事業所等の外観写真
- 認証の区分
- グリーン水素利用設備（全体外観写真を含む）
- グリーン水素の製造、供給、利用のフロー図
- 取組内容（概要）
- 取組の意義・効果
- その他東京都が認めた事項（事業者の了解を得た後に公表となります。）

（２）認証ロゴマークを用いた PR

認証された事業者等は、認証ロゴマークを用いたＰＲができます。

（３）奨励金の支給

認証された事業者等には、原則として、利用実績に応じた奨励金が認証区分に応じて支給されます。

※１　「東京都グリーン水素トライアル取引事業」において調達しているグリーン水素は、奨励金の支給対象となりません。

※２ 商用の水素ステーションを運営する事業者は、認証申請を行うことができますが、奨励金の支給対象となりません。

5　よくある質問（Ｑ＆Ａ）

No.	質　問	回　答
○制度全般について		
1	認証の対象をグリーン水素としているのはなぜでしょうか？	東京都は「ゼロエミッション東京」の実現に向けて水素エネルギーの実装化を進めています。 水素は現在、天然ガスや工業プロセス等の副産物から作られることが多いですが、将来的には、製造時に温室効果ガスを排出しないグリーン水素の本格活用が期待されています。 本制度は事業者にグリーン水素の率先的な活用を促し、グリーン水素の利用に向けた基盤づくりを早期に行うことを狙いとしています。
2	事業者が認証を受けるメリットは何でしょうか？	現在、水素エネルギーの実装化は、EU 等世界的に動き出している状況です。この機会を捉え、グリーン水素を利用することは、事業者等の環境面の取組としてのＰＲ効果があるものと考えております。 そこで、本事業の認証事業者をグリーン水素率先利用事業者として認証し、その取組をホームページ等で公表します。 認証事業者等には、都からグリーン水素率先利用事業者認証書が交付されるほか、ＰＲに用いていただける認証ロゴマークを当年度内に使用可能です。また、原則として、認証事業者等のグリーン水素利用量に応じて、奨励金を支給することとしています。
3	一度認証されれば、認証は更新の必要がないと考えてよいでしょうか？	グリーン水素の前年度利用実績について認証するため、毎年度申請をいただくこととなります。 例えば、令和６年度のグリーン水素利用実績について、令和７年 10 月１日にグリーン水素率先利用事業者として認証された場合、認証の有効期間は令和８年９月 30 日までとなります。
4	本制度の「少量利用型」の認証で、グリーン水素の輸送をカーボン・オフセットする必要がありますか？	グリーン水素の輸送のカーボン・オフセットは「オフサイト型」は認証要件としていますが、「少量利用型」は必須ではありません。

No.	質　問	回　答
○認証申請について		
5	カーボンニュートラルガスで製造した水素の利用は認証対象とならないでしょうか？	本制度は、ゼロエミッション東京の実現に寄与するグリーン水素の利用に向けた基盤づくりを早期に行うことを狙いとしているため、カーボンニュートラルガスで製造した水素の利用は、認証対象としていません。
6	グリーン水素製造設備などに利用量を把握する計測器が整備されていない場合は対象とならないのでしょうか？	要件として、グリーン水素の利用があることを設定しています。また、グリーン水素であることを証明いただくために、電力の使用量などの把握は必要ですが、水素製造設備の定格消費電力等を用いた計算により求めることも可能です。 電力の使用量などの把握についてご不明な点がある場合には、申請前にヘルプデスクへご相談ください。
7	保有している都内のａ事業所とｂ事業所でグリーン水素を利用しています。このグリーン水素利用の合算値では対象にならないでしょうか？	事業者等において、「オンサイト型（地産地消）」、「オンサイト型」、「オフサイト型」、「少量利用型」それぞれの区分で認証します。 ａ事業所が「オンサイト型」、ｂ事業所が「オフサイト型」の場合は、それぞれのグリーン水素利用量のいずれかが、各下限値以上である必要があります。
8	グリーン水素利用設備はリース契約で自社として所有していませんが、その場合の認証の申請者は誰になるのでしょうか？	グリーン水素利用設備の所有の契約形態に関わらず、<u>グリーン水素利用設備を用いてグリーン水素を利用している主体</u>が今回の認証の申請者となります。
9	グリーン水素製造設備がグリーン水素利用設備の道路を挟んだ向かいの敷地にあり、同一敷地にない場合、認証区分はどのように考えれば良いでしょうか？	グリーン水素製造設備がグリーン水素利用設備と近接した敷地にある場合、原則として、オンサイト型となります。 他方、敷地同士が離れており、製造したグリーン水素を車両運搬により輸送し、別の敷地で利用するものは、オフサイト型となります。 申請前にヘルプデスクにご相談ください。
10	本制度のオフサイト型の認証で、グリーン水素の輸送をカーボン・オフセ	「J-クレジット」、「非化石証書（再エネ指定あり）」「J-ブルークレジット」、「グリーン電力証書」の利用を広く認めています。

No.	質　問	回　答
	ットできるクレジット・証書は何でしょうか？	

6　その他

（１）認証された事業者に対して、必要に応じて調査等を行う場合があります。

（２）申請にあたって、虚偽の記載等があった場合は、認証を取り消すことがあります。

（３）その他、認証制度に関することは、「グリーン水素率先利用事業者認証制度実施要綱」、「グリーン水素率先利用事業者認証制度運用方針」をご確認ください。

7　グリーン水素率先利用事業者認証を受けた事業者への支援

グリーン水素率先利用事業者の認証を受けた認証区分及び認証されたグリーン水素の利用実績に応じ、奨励金を支給します。

※１　「東京都グリーン水素トライアル取引事業」において調達しているグリーン水素は、奨励金の支給対象となりません。

※２ 商用の水素ステーションを運営する事業者は、認証申請を行うことができますが、奨励金の支給対象となりません。

認証書の交付後に、申請の受付を開始いたしますので、別途御案内いたします。

8　ヘルプデスク

株式会社エックス都市研究所

電話　0120-769-491

〔受付時間：９：00～17：00（土日、祝日、年末年始を除く）〕

メール　tokyo-gh2c（a）exri.co.jp

※（a）を@に替えて送付してください。

令和７年４月
東京都産業労働局産業・エネルギー政策部新エネルギー推進課
電話　03-5320-4689（直通）